



Numerics

- 802.1D
 - STP を参照
- 802.1p 15-2
- 802.1Q
 - カプセル化 12-19
 - 設定に関する注意事項 12-21
 - タグなしトラフィック用ネイティブ VLAN 12-26
 - トランク ポート 10-4
 - トンネリング
 - 説明 16-2
 - 他の機能との互換性 16-7
 - デフォルト 16-5
 - トンネル ポートと他の機能を併用する場合 16-7
- 802.1s
 - MSTP を参照
- 802.1w
 - RSTP を参照
- 802.1x
 - ポートベースの認証も参照
- 802.1x で許可されたポート 9-4
- 802.1x で無許可のポート 9-4
- 802.3ad
 - EtherChannel を参照
- 802.3z フロー制御 10-17

A

- ABR 34-27
- access-class コマンド 31-20
- ACE
 - IP 31-2
 - QoS 32-11
 - イーサネット 31-2
 - 定義 31-2

ACL

- ACE 31-2
- any キーワード 31-13
- host キーワード 31-13
- IP
 - 暗黙的な拒否 31-9, 31-15, 31-17
 - 一致条件 31-7
 - 違反、ログ 31-16
 - インターフェイスへの適用 31-20
 - 作成 31-7
 - 端末回線、適用 31-20
 - 名前指定 31-15
 - フラグメントおよび QoS に関する注意事項 32-49
 - マスクの省略 31-9
 - 未定義 31-22
- log キーワード 31-16
- MAC 拡張 31-28, 32-62
- QoS 32-11, 32-60
- QoS クラス マップあたりの個数 32-49
- QoS に関するトラフィックの分類 32-60
- VLAN マップ
 - 設定 31-31
 - 設定時の注意事項 31-32
- VLAN マップとの組み合わせ 31-38
- アクションの制限 31-39
- エントリの再順番付け 31-15
- 拡張 IP
 - QoS 分類用の設定 32-61
 - 一致条件 31-7
 - 作成 31-10
- コメント 31-19
- サポートされている機能 31-22
- サポートされない機能 31-7
- 時間範囲 31-17
- 照合 31-7, 31-21
- 定義 31-2, 31-7

- 適用
 - QoS への適用 32-11
 - インターフェイスへの適用 31-20
 - 時間範囲 31-17
 - スイッチドパケット上 31-39
 - ブリッジドパケット上 31-40
 - マルチキャストパケット上 31-41
 - ルーテッドパケット上 31-40
- 名前指定 31-15
- ハードウェアおよびソフトウェア処理 31-22
- 番号 31-8
- 標準 IP
 - QoS 分類用の設定 32-60
 - 一致条件 31-7
 - 作成 31-9
- 編集 31-23
- ポート 31-2
- モニタ 31-42
- 優先順位 31-3
- ルータ 31-2
- ルータ ACL を VLAN マップと組み合わせて使用する
方法 31-38
- 例 31-23, 32-60
 - ログメッセージ 31-10
- ACL エントリの再順番付け 31-15
- ACL の時間範囲 31-17
- Address Resolution Protocol
 - ARP を参照
- Any Transport over MPLS
 - AToM を参照
- Area Border Router
 - ABR を参照
- ARP
 - カプセル化 34-11
 - スタティック キャッシュの設定 34-10
 - 設定 34-10
 - 定義 6-28, 34-9
- ARP テーブル
 - アドレス解決 6-28
 - 管理 6-28
- ASBR 34-27
- AS パス フィルタ、BGP 34-52
- AS、BGP 内 34-46
- AToM 36-14
- Autonomous System Boundary Router
 - ASBR を参照
- Auxiliary VLAN
 - 音声 VLAN を参照
- B
- BackboneFast
 - イネーブル化 19-15
 - 説明 19-6
- BGP
 - CIDR 34-58
 - clear コマンド 34-62
 - multi-VRF CE によるルーティングセッション
34-78
 - show コマンド 34-62
 - イネーブル化 34-46
 - コミュニティ フィルタリング 34-55
 - 集約アドレス 34-58
 - 集約ルート、設定 34-58
 - スーパーネット 34-58
 - セッションのリセット 34-48
 - 説明 34-43
 - デフォルト設定 34-44
 - ネイバの設定 34-56
 - ネイバ、タイプ 34-46
 - バージョン 4 34-43
 - パスの選択 34-50
 - ピアの設定 34-56
 - プレフィクス フィルタリング 34-54
 - マルチパス サポート 34-50
 - モニタ 34-62
 - ルーティングセッションの設定 36-10
 - ルーティングドメイン連合 34-59
 - ルート ダンピング化 34-61
 - ルート マップ 34-52
 - ルート リフレクタ 34-60
- Border Gateway Protocol
 - BGP を参照
- BPDU
 - errdisable ステート 19-3
 - RSTP フォーマット 18-10
 - フィルタリング 19-3
- BPDU ガード
 - イネーブル化 19-12
 - 説明 19-3
- BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 19-13

- 説明 19-3
- C**
- CA トラストポイント
 設定 8-47
 定義 8-44
- CBWFQ
 設定
 DSCP ベース WRED 32-111
 IP precedence ベース WRED 32-115
 テールドロップ 32-107
 説明 32-36
- CDP
 アップデート 25-3
 イネーブル化またはディセーブル化
 インターフェイス上 25-5
 スイッチ上 25-4
 概要 25-2
 信頼境界 32-56
 設定 25-3
 説明 25-2
 タイマーおよびホールドタイム、設定 25-3
 デフォルト設定 25-3
 モニタ 25-6
 ルーティングデバイスでのディセーブル化
 25-4, 25-5
 レイヤ2 プロトコル トンネリング 16-13
- CEF 34-84
- CGMP
 IGMP スヌーピング学習方式 23-8
 概要 37-8
 キャッシュに格納されたグループ エントリのク
 リア 37-54
 サーバサポート機能 37-8
 サーバサポート機能のイネーブル化 37-35
 マルチキャスト グループへの加入 23-3
- CIDR 34-58
- CipherSuite 8-46
- Cisco 7960 IP Phone 15-2
- Cisco Discovery Protocol
 CDP を参照
- Cisco Express Forwarding
 CEF を参照
- Cisco Group Management Protocol
 CGMP を参照
- Cisco Intelligence Engine 2100 シリーズ Configuration Registrar
 IE2100 を参照
- Cisco IOS DHCP サーバ
 DHCP を参照
- Cisco IOS File System 1-4
- Cisco Networking Services
 IE2100 を参照
- CiscoWorks2000 1-3, 30-4
- Classless Interdomain Routing
 CIDR を参照
- CLI
 エラーメッセージ 2-5
 クラスタの管理 4-4
 コマンドモード 2-2
 コマンドの no および default 形式 2-5
 コマンドの出力のフィルタリング 2-11
 コマンドの省略形 2-5
 ヒストリ
 コマンドの呼び出し方法 2-6
 説明 2-6
 ディセーブル化 2-7
 バッファ サイズの変更 2-6
 ヘルプの利用方法 2-4
 編集機能
 イネーブル化またはディセーブル化 2-8
 折り返し機能 2-10
 キーストロークによる編集 2-8
- CLNS
 ISO CLNS を参照
- config.text 3-13
- configure terminal コマンド 10-8
- config-vlan モード 2-3, 12-8
- CoS
 デフォルトポート値の設定 32-55
 プライオリティの信頼 15-7
 プライオリティの無効化 15-7
 レイヤ2 フレーム 32-3
- crashinfo ファイル 40-22
- D**
- default コマンド 2-5
- description コマンド 10-20
- DHCP

- Cisco IOS サーバ データベース
 - 設定 21-13
 - 説明 21-6
 - デフォルト設定 21-8
- イネーブル化
 - サーバ 21-10
 - リレー エージェント 21-10
- DHCP Option 82
 - 回線 ID サブオプション 21-5
 - 概要 21-4
 - 設定時の注意事項 21-9
 - デフォルト設定 21-8
 - 転送アドレス、指定 21-10
 - パケットフォーマット、サブオプション
 - 回線 ID 21-5
 - リモート ID 21-5
 - 表示 21-15
 - ヘルパー アドレス 21-11
 - リモート ID サブオプション 21-5
- DHCP スヌーピング
 - Option 82 データ挿入 21-4
 - エッジ スイッチから信頼できないパケットの受信 21-3, 21-12
 - 信頼できないインターフェイス 21-3
 - 信頼できないメッセージ 21-3
 - 信頼できるインターフェイス 21-3
 - 設定時の注意事項 21-9
 - デフォルト設定 21-8
 - バインディング データベース
 - DHCP スヌーピング バインディング テーブルを参照
 - バインディング テーブルの表示 21-15
 - プライベート VLAN 21-13
- DHCP スヌーピング バインディング データベース
 - イネーブル化 21-13
 - エージェントの統計情報 21-14
 - エントリ 21-6
 - 削除
 - データベース エージェント 21-14
 - バインディング 21-14
 - バインディング ファイル 21-14
 - 設定 21-13
 - 設定時の注意事項 21-9
 - 説明 21-6
 - データベースの更新 21-14
 - デフォルト設定 21-8
 - バインディング 21-6
- バインディング ファイル
 - フォーマット 21-7
 - 保存場所 21-6
- バインディングの追加 21-13
- 表示 21-15
 - ステータスおよび統計情報 21-15
- プロセスの更新 21-7
- リセット
 - タイムアウト値 21-14
 - 遅延値 21-14
- DHCP スヌーピング バインディング テーブル
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP バインディング データベース
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP バインディング テーブル
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP ベースの自動設定
 - BOOTP クライアント機能 3-4
 - 概要 3-4
 - クライアント要求メッセージの交換 3-4
 - 構成例 3-9
 - 設定
 - DNS 3-7
 - TFTP サーバ 3-6
 - クライアント側 3-4
 - サーバ側 3-5, 21-10
 - リレー デバイス 3-7
 - リース オプション
 - IP アドレス情報 3-5
 - コンフィギュレーション ファイル受信 3-6
- Differentiated Services Code Point
 - DSCP を参照
- Differentiated Services アーキテクチャ、QoS 32-3
- Diffusing Update Algorithm (DUAL) 34-36
- Distance Vector Multicast Routing Protocol
 - DVMRP を参照
- distribute-list コマンド 34-95
- DNS
 - DHCP ベースの自動設定 3-7
 - 概要 6-17
 - 設定 6-17
 - 設定の表示 6-18
 - デフォルト設定 6-17
- dot1q-tunnel switchport mode 12-20

- DSCP 32-3
 - DSCP 透過 32-57
 - DTP 12-19
 - DUAL 有限状態マシン、EIGRP 34-37
 - DVMRP
 - DVMRP ルータへの PIM ドメインの接続 37-42
 - mrinfo 要求、応答 37-45
 - 概要 37-8
 - 自動サマライズ
 - サマリーアドレスの設定 37-50
 - ディセーブル化 37-52
 - 相互運用
 - IOS ソフトウェア 37-8
 - シスコ製デバイス 37-40
 - 送信元配信ツリー、構築 37-8
 - トンネル
 - 設定 37-42
 - ネイバ情報の表示 37-45
 - ネイバ
 - 情報の表示 37-45
 - デフォルト ルートのアドバタイズ 37-44
 - 非ブルーニング ネイバとのピアリングの禁止 37-48
 - 非ブルーニング ネイバの拒否 37-47
 - プローブ メッセージによる検出 37-40
 - ユニキャストルーティングのイネーブル化 37-46
 - ルーティング テーブル 37-8
 - ルート
 - MBONE に入る個数の制限 37-49
 - Syslog メッセージのスレッシユホールドの変更 37-50
 - 削除 37-54
 - すべてをアドバタイズ 37-52
 - ネイバへのデフォルト ルートのアドバタイズ 37-44
 - 表示 37-55
 - メトリック オフセットの追加 37-53
 - 優先度 37-53
 - ユニキャスト ルート アドバタイズの制限 37-40
 - レポートメッセージで取得された DVMRP ルートのキャッシング 37-46
 - dynamic auto トランキング モード 12-20
 - dynamic desirable トランキング モード 12-20
 - Dynamic Host Configuration Protocol
 - DHCP ベースの自動設定を参照
 - Dynamic Trunking protocol
 - DTP を参照
- ## E
- EBGP 34-42, 36-6
 - EIGRP
 - IGRP 34-38
 - インターフェイス パラメータ、設定 34-39
 - コンポーネント 34-36
 - 設定 34-38
 - 定義 34-36
 - デフォルト設定 34-37
 - 認証 34-40
 - モニタ 34-41
 - Enhanced IGRP
 - EIGRP を参照
 - Enhanced-Services インターフェイス
 - ES インターフェイスを参照
 - EoMPLS
 - 802.1Q トンネリング 36-15
 - QoS 36-16, 36-20
 - 制限事項 36-16
 - 設定 36-17
 - デフォルト設定 36-17
 - パケット フロー 36-19
 - モニタ 36-24
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 36-15
 - ES インターフェイス 10-3, 10-8, 36-1
 - EtherChannel
 - 802.3ad、説明 33-5
 - LACP
 - システム プライオリティ 33-19
 - ステータスの表示 33-21
 - 説明 33-5
 - ポート プライオリティ 33-19
 - 他の機能との相互作用 33-6
 - ホットスタンバイ ポート 33-18
 - モード 33-6
 - PAgP
 - Catalyst 1900 との互換性 33-17
 - 学習方式およびプライオリティの設定 33-17
 - サイレントモード 33-5
 - 集約ポート ラーナー 33-17
 - ステータスの表示 33-21

- 説明 33-4
- 他の機能との相互作用 33-5
- モード 33-4
- インターフェイスの個数 33-2
- 自動作成 33-4, 33-5
- ステータスの表示 33-21
- 設定
 - レイヤ 3 物理インターフェイス 33-14
 - レイヤ 3 ポートチャンネル論理インターフェイス 33-13
- 設定時の注意事項 33-10
- 説明 33-2
- 相互作用
 - STP 33-10
 - VLAN 33-10
- チャンネルグループ
 - 番号 33-3
 - 物理インターフェイスと論理インターフェイスのバインド 33-3
- デフォルト設定 33-9
- 転送方式 33-6, 33-16
- ポートグループ 10-6
- ポートチャンネルインターフェイス
 - 説明 33-3
 - 番号 33-3
- レイヤ 2 インターフェイスの設定 33-11
- レイヤ 3 インターフェイス 34-4
- ロードバランシング 33-6, 33-16
- 論理インターフェイス、説明 33-3
- EtherChannel ガード
 - イネーブル化 19-15
 - 説明 19-8
 - ディセーブル化 19-15
- Ethernet over MPLS
 - EoMPLS を参照
- EXP ビット、MPLS プライオリティの設定 36-22
- Extensible Authentication Protocol over LAN 9-2
- External BGP
 - EBGP を参照
- F
- FIB 34-84
- Flex Link
 - 概要 20-2
 - 設定 20-4
- 設定時の注意事項 20-3
- デフォルト設定 20-3
- モニタ 20-4
- Forwarding Information Base
 - FIB を参照
- FTP
 - MIB ファイルへのアクセス A-4
 - イメージファイル
 - アップロード B-29
 - サーバの準備 B-26
 - ダウンロード B-27
 - 古いイメージの削除 B-29
 - コンフィギュレーションファイル
 - アップロード B-16
 - 概要 B-13
 - サーバの準備 B-14
 - ダウンロード B-15
- G
- get-bulk-request 動作 30-3
- get-next-request 動作 30-3, 30-5
- get-request 動作 30-3, 30-4, 30-5
- get-response 動作 30-3
- H
- hello タイム
 - MSTP 18-22
 - STP 17-22
- Hot Standby Router Protocol
 - HSRP を参照
- HP OpenView 1-3
- HSRP
 - イネーブル化 35-5
 - 概要 35-2
 - 設定 35-4
 - タイマー 35-8
 - 注意事項 35-4
 - 追跡 35-6
 - 定義 35-1
 - デフォルト設定 35-4
 - 認証ストリング 35-8
 - プライオリティ 35-6
- HTTP over SSL
 - HTTPS を参照

- HTTPS 8-44
 - 自己署名証明書 8-45
 - 設定 8-48
- HTTP セキュア サーバ 8-44
- I
- IBGP 34-42, 36-6
- ICMP
 - time exceeded メッセージ 40-15
 - traceroute 40-15
 - 到達不能メッセージ 31-21
 - 到達不能、ACL 31-22
 - リダイレクトメッセージ 34-12
- ICMP ping
 - 概要 40-11
 - 実行 40-11
- ICMP Router Discovery Protocol
 - IRDP を参照
- IDS 装置
 - 入力 RSPAN 27-22
 - 入力 SPAN 27-15
- IE2100
 - CNS 組み込みエージェント
 - イベント エージェントのイネーブル化 5-9
 - コンフィギュレーション エージェントのイネーブル化 5-10
 - 自動設定のイネーブル化 5-8
 - 説明 5-6
 - Configuration Registrar
 - configID、deviceID、ホスト名 5-4
 - イベント サービス 5-3
 - コンフィギュレーション サービス 5-3
 - 説明 5-2
- IGMP
 - Join メッセージ 23-3
 - 概要 37-2
 - キャッシュ エントリの削除 37-54
 - クエリ 23-4
 - グループへのアクセスの制御 37-30
 - 高速スイッチング 37-34
 - スイッチの設定
 - グループのメンバー 37-29
 - スタティックに接続されたメンバー 37-34
 - 即時脱退処理、イネーブル化 23-11
 - デフォルト設定 37-29
 - 統計情報の表示 37-55
 - バージョン 1
 - 説明 37-3
 - バージョン 2 への変更 37-31
 - バージョン 2
 - クエリ タイムアウト 37-33
 - グループのプルーニング 37-33
 - 最大クエリ応答時間 37-33
 - 説明 37-3
 - バージョン 1 への変更 37-31
 - ホストクエリ インターバル、変更 37-32
 - マルチキャスト グループからの脱退 23-5
 - マルチキャスト グループへの加入 23-3
 - マルチキャストの到達可能性 37-29
 - レポート抑制
 - 説明 23-6
 - ディセーブル化 23-12
- IGMP グループ
 - フィルタリングの設定 23-25
- IGMP グループ、最大数の設定 23-25
- IGMP スヌーピング
 - VLAN コンフィギュレーション 23-8
 - アドレスのエイリアス 23-2
 - イネーブル化またはディセーブル化 23-7
 - グローバル コンフィギュレーション 23-7
 - 設定 23-7
 - 即時脱退 23-6
 - 定義 23-2
 - デフォルト設定 23-7
 - 方式 23-8
 - モニタ 23-13
- IGMP スロットリング
 - 設定 23-25
 - 説明 23-22
- IGMP フィルタリング
 - 設定 23-23
 - 説明 23-22
 - デフォルト設定 23-23
 - モニタ 23-27
- IGMP プロファイル
 - コンフィギュレーション モード 23-23
 - 設定 23-23
 - 適用 23-24
- IGP 34-27
- IGRP
 - スプリット ホライズン 34-26

- Intelligence Engine 2100 シリーズ CNS エージェント
 - IE2100 を参照
- interface range macro コマンド 10-11
- interface コマンド 10-8
- Interior Gateway Protocol
 - IGP を参照
- Interior Gateway Routing Protocol
 - IGRP を参照
- Intermediate-System-to-Intermediate-System プロトコル
 - IS-IS を参照
- Internal BGP
 - IBGP を参照
- Internet Control Message Protocol
 - ICMP を参照
- Internet Group Management Protocol
 - IGMP を参照
- ip access group コマンド 31-21
- IP ACL
 - QoS 分類 32-11
 - 暗黙的な拒否 31-9, 31-15, 31-17
 - 拡張、作成 31-10
 - 仮想端末回線、設定 31-20
 - 名前指定 31-15
 - 標準、作成 31-9
 - マスクの省略 31-9
 - 未定義 31-22
 - ログメッセージ 31-16
- ip igmp profile コマンド 23-23
- IP Phone
 - QoS 15-2
 - QoS によるポートセキュリティの確保 32-56
 - QoS の信頼境界 32-56
 - 自動的な分類とキューイング 32-37
 - 設定 15-5
- IP precedence 32-3
- IP traceroute
 - 概要 40-15
 - 実行 40-15
- IP アドレス
 - IP 情報も参照
 - IP ルーティング用 34-5
 - MAC アドレスとの相互作用 34-9
 - 解決 6-28
 - クラス 34-6
 - 候補またはメンバー 4-3
 - コマンドスイッチ 4-2
 - デフォルト設定 34-5
 - モニタ 34-19
- IP 指定ブロードキャスト 34-15
- IP 情報
 - デフォルト設定 3-3
 - 割り当て
 - DHCP ベースの自動設定の使用 3-4
 - 手動 3-11
- IP ソース ガード
 - 802.1x 21-17
 - DHCP スヌーピング 21-16
 - EtherChannel 21-17
 - TCAM エントリ 21-17
 - イネーブル化 21-18
 - スタティック バインディング
 - 削除 21-18
 - 追加 21-18
 - 設定時の注意事項 21-17
 - 説明 21-16
 - 送信元 IP アドレス フィルタリング 21-16
 - 送信元 IP および MAC アドレス フィルタリング 21-16
 - ディセーブル化 21-18
 - デフォルト設定 21-17
 - トランク インターフェイス 21-17
 - バインディング テーブル 21-16
 - バインディング設定
 - 自動 21-16
 - 手動 21-16
 - 表示
 - 設定 21-19
 - バインディング 21-19
 - フィルタリング
 - 送信元 IP アドレス 21-16
 - 送信元 IP および MAC アドレス 21-16
 - プライベート VLAN 21-17
 - ポートセキュリティ 21-17
 - ルーテッドポート 21-17
- IP ブロードキャストアドレス 34-17
- IP プロトコル、ACL 31-12
- IP マルチキャストルーティング
 - CGMP も参照
 - DVMRP も参照
 - IGMP スヌーピング 23-2
 - IGMP も参照

MBONE

- sdr キャッシュ エントリの削除 37-54
- sdr キャッシュ エントリの存在期間の制限 37-37
- sdr キャッシュのモニタ 37-55
- sdr リスナー サポート機能のイネーブル化 37-36
- Session Directory (sdr) ツール、説明 37-36
- アドバタイズされる DVMRP ルートの制限 37-49
- 会議セッション アナウンスメント用の SAP パケット 37-36
- 説明 37-36

PIMv1 および PIMv2 のインターオペラビリティ 37-9

PIM も参照

Reverse Path Forwarding (RPF) チェック 37-6
RP

- PIMv2 BSR の設定 37-19
- 自動 RP および BSR の使用法 37-23
- 自動 RP の設定 37-14
- 手動割り当て 37-13
- マッピング情報のモニタ 37-24

アドレス

- すべてのホスト 37-3
- すべてのマルチキャスト ルータ 37-3
- ホスト グループ アドレス範囲 37-3

イネーブル化

- PIM のモード 37-12
- マルチキャスト転送 37-11

管理の有効範囲付き境界、説明 37-37

グループ /RP マッピング

- BSR 37-6
- 自動 RP 37-5

シスコの実装 37-2

自動 RP

- BSR との使用法 37-23
- 概要 37-5
- 既存の SM クラウドへの追加 37-15
- キャッシュのクリア 37-54
- 候補 RP スプーフィングの禁止 37-17
- 新規インターネットワークでの設定 37-15
- 設定時の注意事項 37-10
- 着信 RP アナウンスメント メッセージのフィルタリング 37-17
- 問題のある RP への Join メッセージの送信禁止 37-17
- 利点 37-14

設定

- IP マルチキャスト境界 37-37
- 基本的なマルチキャスト ルーティング 37-11

デフォルト設定 37-9

統計情報、システムおよびネットワークの表示 37-54

ブートストラップ ルータ

- IP マルチキャスト境界の定義 37-20
- PIM ドメイン境界の定義 37-19
- 概要 37-6

候補 BSR の設定 37-21

候補 RP の設定 37-22

自動 RP による使用法 37-23

設定時の注意事項 37-10

プロトコルの動作 37-2

マルチキャスト転送、説明 37-6

モニタ

- パケット速度および損失情報 37-55
- パスのトレース 37-55
- ピアリング デバイス 37-55

ルーティング テーブル

- 削除 37-54
- 表示 37-55

IP ユニキャスト ルーティング

ARP 34-9

BGP も参照

EIGRP も参照

EtherChannel レイヤ 3 インターフェイス 34-4

IGP 34-27

IGRP も参照

IP アドレス

- クラス 34-6
- 設定 34-5

IRDP 34-13

IS-IS も参照

MAC アドレスおよび IP アドレス 34-9

OSPF も参照

RIP も参照

SVI を使用 34-4

UDP 34-16

VLAN 間 34-2

アドレス解決 34-9

イネーブル化 34-20

管理距離 34-86, 34-96

逆アドレス解決 34-9

クラスレス ルーティング 34-7

- 再配信 34-88
- サブネットゼロ 34-6
- サブネットマスク 34-6
- 指定ブロードキャスト 34-15
- スーパーネット 34-7
- スタティックルーティング 34-2
- スタティックルートの設定 34-86
- 設定手順 34-4
- ダイナミックルーティングプロトコル 34-2
- デフォルト
 - アドレス指定の設定 34-5
 - ゲートウェイ 34-12
 - ネットワーク 34-87
 - ルーティング 34-2
 - ルート 34-87
- 認証鍵 34-97
- パッシブインターフェイス 34-94
- ブロードキャスト
 - アドレス 34-17
 - ストーム 34-14
 - パケット 34-14
 - フラッドイング 34-17
- プロキシARP 34-9
- プロトコル
 - ダイナミック 34-2
 - ディスタンスベクタ 34-3
 - リンクステート 34-3
- ルーテッドポート 34-4
- レイヤ3インターフェイス 34-4
- レイヤ3インターフェイスへのIPアドレスの割り当て 34-6
- IPルーティング
 - イネーブル化 34-20
 - インターフェイスの接続 10-7
- IPルート、モニタ 34-98
- IRDP
 - 設定 34-13
 - 定義 34-13
- IS-IS
 - show コマンド 34-72
 - アドレス 34-63
 - エリアルーティング 34-63
 - システムルーティング 34-63
 - デフォルト設定 34-64
 - モニタ 34-72
- ISLおよびトランクポート 10-3
- ISO CLNS
 - clear コマンド 34-72
 - NET 34-63
 - NSAP 34-63
 - OSI 標準 34-63
 - ダイナミックルーティングプロトコル 34-63
 - モニタ 34-72
- ISO IGRP
 - エリアルーティング 34-63
 - システムルーティング 34-63
- J
- Join メッセージ、IGMP 23-3
- K
- Kerberos
 - KDC 8-33
 - TGT 8-35
 - 暗号化ソフトウェアイメージ 8-33
 - サーバ 8-35
 - 証明書 8-33
 - 信頼できるサードパーティとしてのスイッチ 8-33
 - 設定 8-37
 - 設定例 8-33
 - 説明 8-33
 - チケット 8-33
 - 動作 8-35
 - 認証
 - KDC 8-36
 - 境界スイッチ 8-36
 - ネットワークサービス 8-36
 - 用語 8-34
 - レルム 8-34
- L
- l2protocol-tunnel コマンド 16-18
- Label Distribution Protocol
 - LDP を参照
- LACP
 - EtherChannel を参照
 - レイヤ2プロトコルトネリング 16-14
- LDAP 5-3

- LDP 36-7
- Lightweight Directory Access Protocol
 - LDAP を参照
- Link Aggregation Control Protocol
 - EtherChannel を参照
 - LACP を参照
- Link State Advertisement (LSA) 34-31
- LLQ
 - イネーブル化 32-119
 - 出カプライオリティキューとの相互作用 32-120
 - 説明 32-36
- Long-Reach Ethernet (LRE) テクノロジー 1-13
- Low-Latency Queuing
 - LLQ を参照
- LSR 36-2

- M
- MAC アドレス
 - ACL 内 31-28
 - IP アドレスとの相互作用 34-9
 - IP ソース ガード情報の表示 21-19
 - VLAN との対応付け 6-22
 - アドレス テーブルの作成 6-21
 - エージング タイム 6-22
 - 解決 6-28
 - スタティック
 - 許可 6-27
 - 削除 6-26
 - 追加 6-26
 - 特性 6-25
 - 廃棄 6-27
 - ダイナミック
 - 削除 6-23
 - ラーニング 6-21
 - デフォルト設定 6-22
 - 表示 6-28
- MAC アドレスと VLAN のマッピング 12-31
- MAC 拡張 ACL
 - QoS の設定 32-62
 - QoS 分類 32-8
 - 作成 31-28
 - 定義 31-28
 - レイヤ 2 インターフェイスへの適用 31-29
- maximum-paths コマンド 34-50, 34-85

- MIB
 - FTP によるファイルへのアクセス A-4
 - SNMP との相互作用 30-4
 - 概要 30-2
 - サポート A-2
 - ファイルの位置 A-4
- MP-BGP 36-13
- MPLS
 - EXP フィールド 36-20
 - QoS
 - EXP ビット 36-21
 - 使用 36-20
 - 設定 36-21
 - デフォルト設定 36-22
 - VPN
 - パケット フロー 36-13
 - ラベル 36-3
 - 設定 36-8
 - デフォルト設定 36-7
 - モニタ 36-24
 - ラベル 36-2
- MSDP
 - DM 領域
 - SA メッセージの送信 38-17
 - 発信元アドレスの指定 38-18
 - MSDP 接続および統計情報のクリア 38-19
 - SA メッセージ
 - TTL によるデータの制限 38-14
 - アドバタイズされる送信元の制限 38-9
 - キャッシュ エントリのクリア 38-19
 - キャッシング 38-6
 - 着信のフィルタリング 38-14
 - 定義 38-2
 - ピアからのフィルタリング 38-11
 - ピアへのフィルタリング 38-12
 - モニタ 38-19
 - 概要 38-2
 - 参加遅延、定義 38-6
 - 送信元情報の制御
 - スイッチから発信 38-8
 - スイッチで受信 38-14
 - スイッチで転送 38-12
 - デフォルト設定 38-4
 - 発信元アドレス、変更 38-18
 - ピア
 - シャットダウン 38-16

- 送信元情報の要求 38-8
- デフォルトの設定 38-4
- ピアリング関係、概要 38-2
- モニタ 38-19
- ピア RPF フラッドイング 38-2
- フィルタリング
 - 着信 SA メッセージ 38-14
 - ピアからの SA 要求メッセージ 38-11
 - ピアへの SA メッセージ 38-12
- メッシュグループ
 - 設定 38-16
 - 定義 38-16
- 利点 38-3
- MSTP
 - 802.1D とのインターオペラビリティ
 - 移行プロセスの再起動 18-24
 - 説明 18-6
 - BPDU ガード
 - イネーブル化 19-12
 - 説明 19-3
 - BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 19-13
 - 説明 19-3
 - CIST の説明 18-3
 - CST
 - 定義 18-3
 - リージョン間の動作 18-4
 - EtherChannel ガード
 - イネーブル化 19-15
 - 概要 19-8
 - IST
 - 定義 18-3
 - マスター 18-3
 - リージョン内の動作 18-3
 - MST リージョン
 - CIST 18-3
 - IST 18-3
 - サポートされるスパニングツリー インスタンス 18-2
 - 設定 18-14
 - 説明 18-2
 - ホップ カウント メカニズム 18-5
 - PortFast
 - イネーブル化 19-11
 - 説明 19-2
 - PortFast イネーブル ポートのシャットダウン 19-3
 - VLAN と MST インスタンスのマッピング 18-15
 - インターフェイス ステート、ブロッキングからフォワーディング 19-2
 - オプション機能のデフォルト設定 19-10
 - 概要 18-2
 - 拡張システム ID
 - セカンダリ ルート スイッチに対する影響 18-18
 - 予期しない動作 18-16
 - ルート スイッチへの影響 18-16
 - 境界ポート
 - 設定時の注意事項 18-14
 - 説明 18-5
 - サポートされるインスタンス 17-10
 - ステータスの表示 18-25
 - 設定
 - hello タイム 18-22
 - MST リージョン 18-14
 - 高速コンバージェンス用リンク タイプ 18-24
 - 最大エージング タイム 18-23
 - 最大ホップ カウント 18-23
 - スイッチ プライオリティ 18-21
 - セカンダリ ルート スイッチ 18-18
 - 転送遅延時間 18-22
 - パス コスト 18-20
 - ポート プライオリティ 18-19
 - ルート スイッチ 18-16
 - 設定時の注意事項 18-14, 19-10
 - デフォルト設定 18-13
 - モード間のインターオペラビリティと下位互換性 17-11
 - モードのイネーブル化 18-14
 - ルート ガード
 - イネーブル化 19-16
 - 説明 19-8
 - ルート スイッチ
 - 拡張システム ID の影響 18-16
 - 設定 18-16
 - 予期しない動作 18-16
 - ルート スイッチとしての選択の防止 19-8
 - ループ ガード
 - イネーブル化 19-17
 - 説明 19-9
- Multicast Source Discovery Protocol
 - MSDP を参照

- Multicast VLAN Registration
 - MVR を参照
- Multiple Spanning-Tree Protocol
 - MSTP を参照
- multiple VPN Routing/Forwarding、カスタマー エッジ デバイス
 - multi-VRF CE を参照
- multi-VRF CE
 - サポート 1-9
 - 設定 34-75
 - 設定時の注意事項 34-76
 - 設定例 34-79
 - 定義 34-73
 - デフォルト設定 34-75
 - ネットワーク構成要素 34-75
 - パケット転送プロセス 34-75
 - 表示 34-83
 - モニタ 34-83
- MVR
 - アドレスのエイリアス 23-17
 - インターフェイスの設定 23-19
 - グローバルパラメータの設定 23-18
 - 説明 23-14
 - デフォルト設定 23-17
 - モード 23-18
 - モニタ 23-21
- N
- NameSpace Mapper
 - NSM を参照
- Network Time Protocol
 - NTP を参照
- no switchport コマンド 10-5
- Not-So-Stubby Area
 - NSSA を参照
- no コマンド 2-5
- NSAP、ISO IGRP アドレスとして 34-63
- NSM 5-3
- NSSA、OSPF 34-31
- NTP
 - ACL の時間範囲 31-17
 - アクセスの制限
 - アクセスグループの作成 6-10
 - 特定のインターフェイスでの NTP サービスのディセーブル化 6-11
 - アソシエーション
 - サーバ 6-7
 - 定義 6-3
 - 認証 6-6
 - ピア 6-7
 - ブロードキャストメッセージのイネーブル化 6-8
 - 概要 6-3
 - 時刻
 - サービス 6-3
 - 同期化 6-3
 - ストラタム 6-3
 - 設定の表示 6-12
 - 送信元 IP アドレス、設定 6-12
 - デバイスの同期化 6-7
 - デフォルト設定 6-5
- NTP アクセスグループのキーワード、スキャン順序 6-10
- O
- Open Shortest Path First
 - OSPF を参照
- OSPF
 - LSA グループ同期 34-34
 - インターフェイスパラメータ、設定 34-30
 - エリアパラメータ、設定 34-31
 - 仮想リンク 34-32
 - 設定 34-29
 - 説明 34-27
 - デフォルト設定
 - 設定 34-28
 - メトリック 34-32
 - ルート 34-32
 - モニタ 34-35
 - ルータ ID 34-34
 - ルートサマライズ 34-32
- P
- PAGP
 - EtherChannel を参照
 - レイヤ2プロトコルトンネリング 16-14
- PBR
 - PBR の高速スイッチング 34-93
 - PBR を参照

イネーブル化 34-92
 定義 34-91
 ローカル PBR 34-93
 PE/CE ルーティング、設定 34-78
 PIM
 dense (密) モード
 RPF チェック 37-7
 概要 37-4
 ランデブー ポイント (RP)、説明 37-5
 sparse (疎) モード
 Join メッセージおよび共有ツリー 37-5
 RPF チェック 37-7
 概要 37-5
 プルーニング メッセージ 37-5
 SPT、使用の延期 37-26
 概要 37-4
 共有ツリーおよび送信元ツリー、概要 37-25
 デフォルト設定 37-9
 ネイバの表示 37-55
 バージョン
 v2 の改善点 37-4
 インターオペラビリティに関するトラブル
 シューティング 37-24
 相互運用 37-9
 モードのイネーブル化 37-12
 ルータクエリ メッセージ インターバル、変更
 37-28
 PIM/DVMRP、スヌーピング方式 23-8
 ping
 概要 40-11
 実行 40-11
 文字出力の説明 40-12
 Port Aggregation Protocol
 EtherChannel を参照
 PortFast
 イネーブル化 19-11
 説明 19-2
 モード、スパニングツリー 12-32
 Protocol-Independent Multicast Protocol
 PIM を参照
 PVST+
 802.1Q トランクのインターオペラビリティ
 17-11
 サポートされるインスタンス 17-10
 説明 17-10

Q

QoS

802.1Q トンネリング 32-54, 32-97
 ACL
 IP 拡張 32-61
 IP 標準 32-60
 MAC 32-62
 DSCP 透過 32-57
 DSCP マップ 32-77
 IP Phone
 検出および信頼設定 32-37, 32-56
 自動的な分類とキューイング 32-37
 MPLS ネットワーク 36-20
 QoS ラベル、定義 32-6
 暗黙的な拒否 32-11
 階層型 QoS
 2 つのレートを使用するトラフィック ポリサー
 32-30, 32-101
 CBWFQ 32-36
 CBWFQ および DSCP ベース WRED 32-111
 CBWFQ および IP precedence ベース WRED
 32-115
 CBWFQ およびテール ドロップ 32-107
 LLQ 32-36, 32-119
 QoS、階層型キューも参照
 QoS、階層レベルも参照
 WRED 32-35
 一致条件 32-29
 クラス マップに基づく分類 32-29, 32-99
 子ポリシー 32-27
 シェーピング 32-36, 32-122
 設定時の注意事項 32-96
 テール ドロップ 32-35
 デフォルト クラス 32-30
 デフォルト設定 32-96
 トラフィック ポリシー、説明 32-29
 表示 32-124
 輻輳回避 32-34
 輻輳管理 32-34
 ポリシング、説明 32-30
 マーキング 32-30, 32-105
 階層型キュー
 CBWFQ 32-36
 LLQ 32-36
 QoS、階層型 QoS も参照
 WRED 32-35

- キュー条件 32-29
- サポートされているキュー数 32-34
- スケジューリング 32-7
- 説明 32-7, 32-34
- 帯域幅制限ストリーム 32-26
- テールドロップ 32-35
- デフォルトキュー 32-34
- 輻輳制御 32-34
- 平均キューサイズの計算 32-35
- 階層レベル
 - VLAN レベル、説明 32-27
 - クラス レベル、説明 32-26
 - サポートされている VLAN レベル クラス数 32-27
 - サポートされているクラスレベル クラス数 32-26
 - 物理インターフェイス レベル、説明 32-28
- 概要 32-3
- 書き換え 32-51
- 基本モデル 32-5
- キュー
 - QoS、階層型キューも参照
 - QoS、出力キューセットも参照
 - QoS、入力キューも参照
 - SRR、説明 32-20
 - WTD、説明 32-19
 - 位置 32-18
 - 出力キューセットの特性の設定 32-87
 - 入力キューの特性の設定 32-82
- クラス マップ
 - 階層型の設定 32-99
 - 入力の設定 32-63
 - 表示 32-95, 32-124
- グローバルなイネーブル化 32-52
- 自動 QoS
 - VoIP 用にイネーブル化 32-42
 - 実行コンフィギュレーションに対する影響 32-41
 - 初期設定、表示 32-46
 - 生成されたコマンドの表示 32-43
 - 生成されるコマンドのリスト 32-39
 - 設定時の注意事項 32-41
 - 設定とデフォルトの表示 32-46
 - 設定例 32-44
 - 説明 32-37
 - ディセーブル化 32-43
 - デフォルト出力キューセット 32-38
- デフォルト入力キュー 32-38
- トラフィックの分類 32-37
- 集約ポリサー、作成 32-75
- 出力インターフェイスの帯域幅の制限 32-94
- 出力キューセット
 - DSCP または CoS 値のマッピング 32-89
 - SRR 共有ウェイトの設定 32-92
 - SRR シューピング ウェイトの設定 32-91
 - WTD スレッシュホールドの設定 32-87
 - WTD、説明 32-25
 - スケジューリング、説明 32-6
 - スレッシュホールド マップの表示 32-90
 - 説明 32-6
 - 特性 32-87
 - バッファ スペースの割り当て 32-87
 - バッファ割り当て方式、説明 32-24
 - プライオリティ キューイング 32-50, 32-93
 - フローチャート 32-23
- 信頼境界、設定 32-56
- 信頼状態
 - 信頼されたデバイス 32-56
 - 説明 32-8
 - ドメイン内 32-53
 - 別のドメインとの境界 32-58
- 設定
 - DSCP トランスペアレンシ 32-57
 - ポリシー マップ、SVI での階層型 32-68
 - ポリシー マップ、デュアルレベル 32-68
- 設定時の注意事項
 - 階層型 QoS 32-96
 - 自動 QoS 32-41
 - 標準 QoS 32-49
- デフォルト設定
 - 階層型 QoS 32-96
 - 自動 QoS 32-37
 - 標準 QoS 32-47
- 統計情報の表示 32-95
- 入力キュー
 - DSCP または CoS 値のマッピング 32-83
 - SRR の共有ウェイトの設定 32-85
 - WTD スレッシュホールドの設定 32-83
 - WTD、説明 32-21
 - スケジューリング、説明 32-6
 - スレッシュホールド マップの表示 32-83
 - 説明 32-6
 - 帯域幅の割り当て 32-85

- 特性の設定 32-82
- バッファスペースの割り当て 32-84
- バッファおよび帯域幅の割り当て、説明 32-21
- プライオリティキュー、設定 32-86
- プライオリティキュー、説明 32-22
- フローチャート 32-20
- パケットの変更 32-51
- フローチャート
 - 2つのレートを使用するポリシングおよびマーキング 32-31
- 階層型キューのキューイングおよびスケジューリング 32-33
- 出力キューセットのキューイングおよびスケジューリング 32-23
- 入力キューイングおよびスケジューリング 32-20
- 入力分類 32-10
- 非階層型単一レベルの入力ポリシングおよびマーキング 32-15
- 分類
 - CoSの信頼、説明 32-8
 - DSCP トランスペアレンシ、説明 32-57
 - DSCPの信頼、説明 32-8
 - IP ACL、説明 32-9, 32-11
 - IP precedenceの信頼、説明 32-8
 - IP トラフィックのオプション 32-8
 - MAC ACL、説明 32-8, 32-11
 - 階層型、定義 32-6
 - クラスマップ、説明 32-11, 32-29
 - 転送処理 32-4
 - 入力、定義 32-6
 - 非IP トラフィックのオプション 32-8
 - フレームおよびパケット 32-4
 - フローチャート、入力 32-10
- ポリサー
 - 階層型、2つのレート 32-30
 - サポート数 32-50, 32-97
 - 集約ポリサーの設定の表示 32-95
 - 設定 32-67, 32-72, 32-75
 - 入力のタイプ 32-13
 - 入力、単一レート 32-14
- ポリシー マップ
 - SVIでの階層 32-12, 32-15
 - 設定 32-65
 - 説明 32-12, 32-29
 - デュアルレベル 32-12, 32-15
- 入力の特性 32-65
- 非階層型および単一レベル 32-12
- 表示 32-95, 32-124
- ポリシー、インターフェイスへの付加 32-14, 32-32
- ポリシング
 - 階層型、説明 32-30
 - 説明 32-6
 - トークンバケットアルゴリズム 32-14
 - 入力、説明 32-12
- マーキング
 - 説明、階層型 32-6, 32-30
 - 説明、入力 32-6, 32-14
- マークダウンアクション 32-67, 32-72, 32-102, 32-105
- マッピングテーブル
 - CoS/DSCP 32-77
 - DSCP/CoS 32-80
 - DSCP/DSCP 変換 32-81
 - IP precedence/DSCP 32-78
 - タイプ 32-17
 - 表示 32-95
 - ポリシング設定 DSCP 32-79
- QoS 機能 1-7
- QoS の CoS/DSCP マップ 32-77
- QoS の CoS 出力キュー スレッシユホールド マップ 32-25
- QoS の CoS 入力キュー スレッシユホールド マップ 32-21
- QoS の DSCP/CoS マップ 32-80
- QoS の DSCP/DSCP 変換マップ 32-81
- QoS の DSCP 出力キュー スレッシユホールド マップ 32-25
- QoS の DSCP 入力キュー スレッシユホールド マップ 32-21
- QoS の IP precedence/DSCP マップ 32-78
- QoS の信頼境界 32-56
- QoS の輻輳管理 32-34
- QoS のプライオリティキュー
 - ESポートでのLLQ 32-119
 - 入力 32-86
 - 標準ポートの出力 32-25
- QoS のポリシー マップ
 - SVIでの階層
 - 設定 32-68
 - 説明 32-16
 - 説明 32-12, 32-29

- デュアルレベル
 - 設定 32-68
 - 説明 32-16
 - 入力の特性 32-65
 - 非階層型単一レベル
 - 設定 32-65
 - 説明 32-13
 - 表示 32-95, 32-124
 - QoS のポリシング設定 DSCP マップ 32-79
 - QoS のマッピング テーブル
 - 設定
 - CoS/DSCP 32-77
 - DSCP 32-77
 - DSCP/CoS 32-80
 - DSCP/DSCP 変換 32-81
 - IP precedence/DSCP 32-78
 - ポリシング設定 DSCP 32-79
 - 説明 32-17
- R**
- RADIUS**
- AAA サーバ グループの定義 8-26
 - アトリビュート
 - ベンダー固有 8-30, 8-32
 - 概要 8-19
 - サーバ ホストの識別 8-21
 - 設定
 - アカウンティング 8-29
 - 許可 8-28
 - 通信、グローバル 8-22, 8-30
 - 通信、サーバ単位 8-21, 8-22
 - 認証 8-24
 - 複数の UDP ポート 8-22
 - 設定の表示 8-32
 - デフォルト設定 8-21
 - 動作 8-20
 - ネットワーク環境 8-19
 - 方式リスト、定義 8-21
 - ユーザがアクセスするサービスの追跡 8-29
 - ユーザへのサービスの制限 8-28
- Rapid per-VLAN Spanning-Tree Plus
- Rapid PVST+ を参照
- Rapid PVST+
- 802.1Q トランクのインターオペラビリティ 17-11
- サポートされるインスタンス 17-10
 - 説明 17-10
- Rapid Spanning-Tree Protocol
- RSTP を参照
- RARP 34-9
- rcommand コマンド 4-4
- RCP
- イメージファイル
 - アップロード B-34
 - サーバの準備 B-31
 - ダウンロード B-32
 - 古いイメージの削除 B-33
 - コンフィギュレーション ファイル
 - アップロード B-19
 - 概要 B-17
 - サーバの準備 B-17
 - ダウンロード B-18
- Remote Authentication Dial-In User Service
- RADIUS を参照
- Remote Copy Protocol
- RCP を参照
- Remote Network Monitoring
- RMON を参照
- Remote SPAN
- RSPAN を参照
- Reverse Address Resolution Protocol
- RARP を参照
- RFC
- 1058、RIP 34-21
 - 1112、IP マルチキャストおよび IGMP 23-2
 - 1157、SNMPv1 30-2
 - 1163、BGP 34-42
 - 1166、IP アドレス 34-6
 - 1253、OSPF 34-27
 - 1267、BGP 34-42
 - 1305、NTP 6-3
 - 1587、NSSA 34-27
 - 1757、RMON 28-2
 - 1771、BGP 34-42
 - 1901、SNMPv2C 30-2
 - 1902 ~ 1907、SNMPv2 30-2
 - 2236、IP マルチキャストおよび IGMP 23-2
 - 2273 ~ 2275、SNMPv3 30-2
- RIP
- アドバタイズ 34-21
 - サマリー アドレス 34-24

- スプリット ホライズン 34-24
 - 設定 34-22
 - 説明 34-21
 - デフォルト設定 34-21
 - 認証 34-24
 - ホップ カウント 34-21
 - RMON**
 - アラームおよびイベントのイネーブル化 28-3
 - 概要 28-2
 - サポートされているグループ 28-2
 - ステータスの表示 28-6
 - デフォルト設定 28-3
 - 統計情報
 - グループイーサネット、収集 28-6
 - グループ履歴、収集 28-5
 - route-map コマンド 34-93
 - Routing Information Protocol**
 - RIP を参照
 - RSPAN**
 - VLAN ベース 27-7
 - 宛先ポート 27-8
 - 概要 27-2
 - 受信トラフィック 27-6
 - ステータスの表示 27-25
 - セッション
 - 作成 27-19
 - 送信元トラフィックの特定の VLAN への制限 27-24
 - 定義 27-4
 - 入力トラフィックがイネーブル 27-22
 - モニタ対象ポートの指定 27-19
 - セッション限度 27-11
 - 設定時の注意事項 27-18
 - 送信されたトラフィック 27-6
 - 送信元ポート 27-7
 - デフォルト設定 27-11
 - 特性 27-9
 - 他の機能との相互作用 27-9
 - モニタ側ポート 27-8
 - モニタ対象ポート 27-7
 - RSTP**
 - 802.1D とのインターオペラビリティ
 - TC 18-11
 - 移行プロセスの再起動 18-24
 - 説明 18-6
 - BPDU**
 - 処理 18-11
 - フォーマット 18-10
 - MSTP も参照
 - RP の定義 18-7
 - アクティブ トポロジーの決定 18-7
 - 概要 18-7
 - 高速コンバージェンス
 - RP 18-8
 - エッジポートおよび PortFast 18-8
 - 説明 18-8
 - ポイントツーポイント リンク 18-8, 18-24
 - 指定スイッチの定義 18-7
 - DP の定義 18-7
 - 提案合意ハンドシェイク プロセス 18-8
 - ポートの役割
 - 説明 18-7
 - 同期化 18-9
- S**
- SDM**
 - 説明 7-1
 - テンプレート
 - 個数 7-2
 - 設定 7-3
 - 設定時の注意事項 7-3
 - Secure Shell**
 - SSH を参照
 - Secure Socket Layer**
 - SSL を参照
 - set-request 動作 30-5
 - SFP**
 - インターフェイス番号 10-8
 - ステータスの表示 1-9
 - ステータスのモニタ 40-10
 - セキュリティと識別 40-10
 - モニタ ステータス 1-9, 10-25
 - Shaped Round Robin**
 - SRR を参照
 - show access-lists hw-summary コマンド 31-22
 - show cdp traffic コマンド 25-6
 - show cluster members コマンド 4-4
 - show configuration コマンド 10-20
 - show interfaces コマンド 10-16, 10-20
 - show l2protocol コマンド 16-19, 16-21, 16-22

- show platform forward コマンド 40-19
- show running-config コマンド
 - ACL の表示 31-21, 31-42
 - インターフェイスに関する記述の追加 10-20
- show および more コマンドの出力、フィルタリング 2-11
- Smartport マクロ
 - Web サイト 11-2
 - グローバルパラメータ値の適用 11-5, 11-7
 - 作成 11-4
 - シスコのデフォルトマクロの適用 11-7
 - 設定時の注意事項 11-3
 - 定義 11-2
 - デフォルト設定 11-3
 - トレーシング 11-3
 - パラメータ値の適用 11-5, 11-7
 - 表示 11-8
 - マクロの適用 11-5
- SNAP 25-2
- SNMP
 - MIB
 - 位置 A-4
 - サポート A-1
 - MIB 変数へのアクセス 30-4
 - Syslog メッセージの制限 29-10
 - TFTP サーバへのアクセス制限 30-14
 - インフォーム
 - trap キーワード 30-11
 - イネーブル化 30-14
 - 説明 30-5
 - トラップとの違い 30-5
 - エージェント
 - 説明 30-4
 - ディセーブル化 30-7
 - エンジン ID 30-7
 - 概要 30-2, 30-4
 - クラスタの管理 4-5
 - グループ 30-6, 30-9
 - コミュニティストリング
 - 概要 30-4
 - 設定 30-7
 - サポートされるバージョン 30-2
 - システムコンタクトおよびロケーション 30-14
 - ステータスの表示 30-16
 - 設定時の注意事項 30-6
 - 設定例 30-15
 - 通知 30-5
 - デフォルト設定 30-6
 - トラップ
 - MAC アドレス通知のイネーブル化 6-23
 - イネーブル化 30-11
 - インフォームとの違い 30-5
 - 概要 30-2, 30-5
 - 説明 30-4, 30-5
 - タイプ 30-11
 - トラップマネージャ、設定 30-12
 - 認証レベル 30-10
 - ホスト 30-6
 - マネージャ機能 30-3
 - ユーザ 30-6, 30-9
- SNMPv1 30-3
- SNMPv2C 30-3
- SNMPv3 30-3
- SPAN
 - VLAN ベース 27-7
 - 宛先ポート 27-8
 - 概要 27-2
 - 受信トラフィック 27-6
 - ステータスの表示 27-25
 - セッション
 - 宛先（モニタ側）ポートの削除 27-14
 - 作成 27-12
 - 送信元トラフィックの特定の VLAN への制限 27-17
 - 定義 27-4
 - 入力転送の設定 27-16, 27-24
 - 入力トラフィックがイネーブル 27-15
 - モニタ対象ポートの指定 27-12
 - セッション限度 27-11
 - 設定時の注意事項 27-11
 - 送信されたトラフィック 27-6
 - 送信元ポート 27-7
 - デフォルト設定 27-11
 - 他の機能との相互作用 27-9
 - モニタ側ポート 27-8
 - モニタ対象ポート 27-7
- SPAN トラフィック 27-6
- SRR
 - 共有モード 32-20
 - シェーピングモード 32-20
 - 設定
 - 出力キューセットの共有ウェイト 32-92

- 出力キューセットのシェーピング ウェイト 32-91
- 入力キューの共有ウェイト 32-85
- 説明 32-20
- プライオリティ キューイングの相互作用 32-50
- SSH
 - 暗号化アルゴリズム 8-39
 - 暗号化ソフトウェア イメージ 8-39
 - 設定 8-40
 - 説明 8-39
 - ユーザ認証方式、サポート対象 8-40
- SSL
 - 暗号化ソフトウェア イメージ 8-44
 - セキュア HTTP クライアントの設定 8-50
 - セキュア HTTP サーバの設定 8-48
 - 設定時の注意事項 8-47
 - 説明 8-44
 - モニタ表示 8-50
- standby ip コマンド 35-5
- storm-control コマンド (ブロードキャスト) 24-5
- storm-control コマンド (マルチキャスト) 24-5
- storm-control コマンド (ユニキャスト) 24-5
- STP
 - 802.1D とブリッジ ID 17-4
 - 802.1D とマルチキャスト アドレス 17-9
 - 802.1t および VLAN ID 17-4
- BackboneFast
 - イネーブル化 19-15
 - 説明 19-6
- BPDU ガード
 - イネーブル化 19-12
 - 説明 19-3
- BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 19-13
 - 説明 19-3
- BPDU メッセージ交換 17-3
- EtherChannel ガード
 - イネーブル化 19-15
 - 説明 19-8
- IEEE 802.1Q トランクでの制約 17-11
- PortFast
 - イネーブル化 19-11
 - 説明 19-2
- PortFast イネーブル ポートのシャットダウン 19-3
- RP の定義 17-4
- UplinkFast
 - イネーブル化 19-14
 - 説明 19-4
- VLAN ブリッジ 17-12
- インターフェイス ステート
 - 概要 17-5
 - ディセーブル 17-7
 - フォワーディング 17-6, 17-7
 - ブロッキング 17-6
 - ラーニング 17-7
 - リスニング 17-7
- インターフェイス ステート、ブロッキングから
フォワーディング 19-2
- オプション機能のデフォルト設定 19-10
- 下位 BPDU 17-4
- 概要 17-2
- カウンタ、クリア 17-24
- 拡張システム ID
 - 概要 17-4
 - セカンダリ ルート スイッチの影響 17-18
 - 予期しない動作 17-17
 - ルート スイッチへの影響 17-16
- 間接リンク障害の検出 19-6
- キープアライブ メッセージ 17-3
- サポートされるインスタンス 17-10
- サポートされるプロトコル 17-10
- サポートされるモード 17-10
- 指定スイッチの定義 17-4
- DP の定義 17-4
- 冗長接続 17-8
- ステータスの表示 17-24
- 設定
 - hello タイム 17-22
 - 最大エージング タイム 17-23
 - スイッチ プライオリティ 17-21
 - スパニングツリー モード 17-15
 - セカンダリ ルート スイッチ 17-18
 - 転送遅延時間 17-23
 - パス コスト 17-20
 - ポート プライオリティ 17-19
 - ルート スイッチ 17-16
- 設定時の注意事項 17-14, 19-10
- タイマー、説明 17-22
- ディセーブル化 17-16
- デフォルト設定 17-13
- パス コスト 12-29, 12-30

- ポートプライオリティ 12-28
 - マルチキャストアドレス、影響 17-9
 - モード間のインターオペラビリティと下位互換性 17-11
 - 優位 BPDU 17-3
 - ルートガード
 - イネーブル化 19-16
 - 説明 19-8
 - ルートスイッチ
 - 拡張システム ID の影響 17-4, 17-16
 - 設定 17-16
 - 選択 17-4
 - 予期しない動作 17-17
 - ルートスイッチとしての選択の防止 19-8
 - ルートポート選択の時間短縮 19-4
 - ループガード
 - イネーブル化 19-17
 - 説明 19-9
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-13
 - ロードシェアリング
 - 概要 12-27
 - パスコストの使用 12-29
 - ポートプライオリティ 12-27
 - SunNet Manager 1-3
 - SVI
 - IP ユニキャストルーティング 34-4
 - VLAN 間のルーティング 12-3
 - VLAN の接続 10-7
 - 定義 10-5
 - ルータ ACL 31-3
 - SVI での階層型ポリシー マップ 32-12
 - 設定 32-68
 - 説明 32-16
 - Switch Database Management
 - SDM を参照
 - Switched Port Analyzer
 - SPAN を参照
 - switchport block multicast コマンド 24-8
 - switchport block unicast コマンド 24-8
 - switchport mode dot1q-tunnel コマンド 16-8
 - switchport protected コマンド 24-7
 - switchport コマンド 10-13
 - Syslog
 - システムメッセージロギングを参照
- T**
- TACACS+
 - アカウントिंग、定義 8-12
 - 概要 8-11
 - 許可、定義 8-12
 - サーバの識別 8-14
 - 設定
 - アカウントिंग 8-18
 - 許可 8-17
 - 認証鍵 8-14
 - ログイン認証 8-15
 - 設定の表示 8-18
 - デフォルト設定 8-14
 - 動作 8-13
 - 認証、定義 8-12
 - ユーザがアクセスするサービスの追跡 8-18
 - ユーザへのサービスの制限 8-17
 - Tag Distribution Protocol
 - TDP を参照
 - tar ファイル
 - イメージファイル形式 B-22
 - 作成 B-6
 - 抽出 B-7
 - 内容の表示 B-7
 - TDP 36-7
 - Telnet
 - 管理インターフェイスへのアクセス 2-11
 - 接続数 1-4
 - パスワードの設定 8-7
 - Terminal Access Controller Access Control System Plus
 - TACACS+ を参照
 - TFTP
 - イメージファイル
 - アップロード B-25
 - サーバの準備 B-23
 - 削除 B-25
 - ダウンロード B-24
 - コンフィギュレーションファイル
 - アップロード B-13
 - サーバの準備 B-11
 - ダウンロード B-12
 - サーバのアクセス制限 30-14
 - 自動設定 3-6
 - ベースディレクトリのコンフィギュレーションファイル 3-6
 - time-range コマンド 31-17

- tracertoute コマンド 40-15
 IP tracertoute も参照
- tracertoute、レイヤ 2
 ARP 40-14
 CDP 40-13
 IP アドレスおよびサブネット 40-14
 MAC アドレスおよび VLAN 40-13
 使用上の注意事項 40-13
 説明 40-13
 ポートに複数のデバイス 40-14
 マルチキャスト トラフィック 40-13
 ユニキャスト トラフィック 40-13
- Type of Service 1-7
- U**
- UDLD**
 アグレッシブモード、説明 26-2
 イネーブル化
 インターフェイス単位 26-6
 グローバル 26-5
 インターフェイスのリセット 26-6
 エコーを使用する検出メカニズム 26-3
 概要 26-2
 近接データベース 26-3
 自動ネゴシエーション 26-2
 ステータスの表示 26-7
 設定時の注意事項 26-5
 単一方向リンク、定義 26-2
 デフォルト設定 26-4
 動作モード 26-2
 標準モード、説明 26-2
 リンク検出メカニズム 26-2
 レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-16
- UDLD によりディセーブル化されたインターフェイス
 のリセット 26-6
- UDP、設定 34-16
- UNIX Syslog サーバ
 サポートされているファシリティ 29-12
 デーモン設定 29-11
 メッセージ ロギングの設定 29-12
- UplinkFast
 イネーブル化 19-14
 説明 19-4
- User Datagram Protocol
 UDP を参照
- V**
- VC 36-14
- Virtual Connection
 VC を参照
- Virtual Private Network
 VPN を参照
- VLAN
 1006 ~ 4094 の ID の設定 12-14
 config-vlan モードでの作成 12-10
 STP および IEEE 802.1Q トランク 17-11
 SVI による接続 10-7
 VLAN コンフィギュレーション モードでの作成
 12-11
 VLAN データベースへの追加 12-10
 VLAN ブリッジ STP 17-12, 39-2
 VTP モード 13-3
 拡張範囲 12-1, 12-14
 機能 1-5
 サービス プロバイダー ネットワーク上でのカスタ
 マーの番号管理 16-3
 削除 12-12
 作成 12-10
 サポート 12-3
 サポート数 1-5
 図 12-2
 スタティック アクセス ポート 12-13
 スパニングツリー インスタンス 12-3, 12-8,
 12-15
 設定 12-1
 設定時の注意事項
 拡張範囲 VLAN 12-14
 標準範囲 VLAN 12-7
 設定モードのオプション 12-8
 説明 10-2, 12-2
 送信元 トラフィックの制限
 RSPAN を使用 27-24
 SPAN を使用 27-17
 ダイナミック アドレスの有効期間 17-9
 デフォルト設定 12-9
 トークンリング 12-7
 トラフィック 12-3
 トランク上での許可 12-24
 内部 12-15
 ネイティブ、設定 12-26
 パラメータ 12-6
 表示 12-18

- 標準範囲 12-1, 12-6
- 変更 12-10
- ポート メンバーシップ モード 12-4
- VLAN 1 最小化 12-24
- VLAN 1、トランク ポート上でのディセーブル化 12-24
- VLAN ACL
 - VLAN マップを参照
- vlan database コマンド 12-8
- VLAN ID
 - アドレス解決 6-28
 - カスタマー側 16-9
 - サービス プロバイダー 16-9
 - マッピング 16-9
- VLAN ID の変換
 - VLAN マッピングを参照
- VLAN ID、サポート数 1-5
- VLAN Management Policy Server
 - VMPS を参照
- VLAN Query Protocol
 - VQP を参照
- VLAN Trunk Protocol
 - VTP を参照
- vlan.dat ファイル 12-6
- vlan-assignment 応答、VMPS 12-31
- VLAN 管理ドメイン 13-2
- VLAN 間ルーティング 34-2
- vlan グローバル コンフィギュレーション コマンド 12-8
- VLAN コンフィギュレーション
 - 起動時 12-9
 - 保存 12-9
 - モード 2-3, 12-8
- VLAN 単位スパンニングツリー
 - PVST+ を参照
- VLAN データベース
 - VLAN 設定の保存 12-9
 - VTP 13-1
 - スタートアップ コンフィギュレーション ファイル 12-9
 - 保存された VLAN ID 12-6
- VLAN トランク 12-19
- VLAN の削除 12-12
- VLAN フィルタリング、SPAN 27-8
- VLAN マッピング
 - 802.1Q トラフィック 16-11
 - 設定 16-10
 - 説明 16-9
- VLAN マップ
 - ACL の表示 31-42
 - アクセスを拒否する例 31-37
 - 一般的な使用法 31-35
 - 作成 31-32
 - 設定 31-31
 - 設定時の注意事項 31-32
 - 設定例 31-36, 31-37
 - 定義 31-3
 - 適用 31-35
 - パケットの拒否および許可 31-33
 - 表示 31-42
- VLAN マップ エントリ、順序 31-32
- VLAN メンバーシップ
 - 確認 12-34
 - モード 12-4
- VMPS
 - VLAN への MAC アドレスのマッピング 12-31
 - 管理 12-36
 - 構成例 12-37
 - サーバアドレスの入力 12-33
 - 再確認インターバル、変更 12-35
 - 再試行回数、変更 12-35
 - 設定時の注意事項 12-32
 - 説明 12-31
 - ダイナミック ポート メンバーシップ
 - 再確認 12-35
 - 説明 12-32
 - トラブルシューティング 12-36
 - デフォルト設定 12-32
 - メンバーシップの確認 12-34
 - モニタ 12-36
- Voice-over-IP 15-2
- VPN
 - IPv4 プレフィクス 36-6
 - MPLS 36-7
 - multi-VRF CE 34-73
 - サービス プロバイダー ネットワーク 34-73
 - サポート数 36-7
 - 説明 36-3
 - 定義 36-9
 - 転送 34-75
 - 利点 36-4
 - ルーティング セッションの設定 34-77
 - ルート 34-74, 36-3, 36-6

VPN Routing/Forwarding テーブル

VRF を参照

VPN サービス

レイヤ 2 1-5

レイヤ 3 1-6

VQP 12-31

VRF

MPLS-VPN 内 36-3

設定 34-75

定義 36-9

テーブル 34-73

要素 36-3

VTP

アドバタイズ 12-22, 13-4

拡張範囲 VLAN 13-2

クライアント モード、設定 13-13

コンフィギュレーション リビジョン番号

注意事項 13-17

リセット 13-17

サーバ モード、設定 13-11

使用方法 13-2

整合性検査 13-5

設定

VLAN 設定モード 13-9

イネーブル EXEC モード 13-8

クライアント モード 13-13

グローバル コンフィギュレーション モード
13-8

サーバ モード 13-11

注意事項 13-9

トランスペアレント モード 13-14

保存 13-9

要件 13-10

設定モード オプション 13-8

説明 13-2

ディセーブル化 13-14

デフォルト設定 13-8

統計情報 13-18

トークン リングのサポート 13-5

ドメイン 13-2

ドメインへのクライアントの追加 13-17

ドメイン名 13-9

トランスペアレント モード、設定 13-14

バージョン 1 13-5

バージョン 2

イネーブル化 13-15

概要 13-5

設定時の注意事項 13-10

ディセーブル化 13-15

バージョン、注意事項 13-10

パスワード 13-10

標準範囲 VLAN 13-2

ブルーニング

イネーブル化 13-16

概要 13-5

設定例 13-6

ディセーブル化 13-16

ブルーニング適格リスト、変更 12-25

モード

移行 13-3

クライアント 13-3, 13-13

サーバ 13-3, 13-11

トランスペアレント 13-4, 13-14

モニタ 13-18

レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-13

VTP バージョン 2 における整合性検査 13-5

W

Weighted Tail Drop

WTD を参照

WRED

DSCP ベース WRED の設定 32-111

IP precedence ベース WRED の設定 32-115

説明 32-35

WTD

スレッシュホールドの設定

出力キューセット 32-87

入力キュー 32-83

説明 32-19

X

XMODEM プロトコル 40-2

あ

アカウントティング

802.1x 9-5, 9-20

RADIUS による 8-29

TACACS+ による 8-12, 8-18

- アクセス グループ
 - IP 31-21
 - インターフェイスへの ACL の適用 31-21
 - レイヤ 2 31-21
 - レイヤ 3 31-21
 - アクセス ポート
 - 定義 10-3
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-16
 - アクセス リスト
 - ACL を参照
 - アクセス拒否の応答、VMPS 12-31
 - アクセス制御エントリ
 - ACE を参照
 - アクセスの制限
 - NTP サービス 6-9
 - RADIUS 8-19
 - TACACS+ 8-11
 - 概要 8-2
 - パスワードおよび権限レベル 8-3
 - アクティブ リンク 20-2
 - アクティブ ルータ 35-2
 - アップロード
 - イメージ ファイル
 - FTP の使用 B-29
 - RCP の使用 B-34
 - TFTP の使用 B-25
 - 準備 B-23, B-26, B-31
 - 目的 B-21
 - コンフィギュレーション ファイル
 - FTP の使用 B-16
 - RCP の使用 B-19
 - TFTP の使用 B-13
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - 宛先 IP アドレスベース転送、EtherChannel 33-7
 - 宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel 33-7
 - 宛先のアドレス、ACL 31-12
 - アドバタイズ
 - CDP 25-2
 - RIP 34-21
 - VTP 12-22, 13-3, 13-4
 - アトリビュート、RADIUS
 - ベンダー固有 8-30, 8-32
 - アドレス
 - MAC アドレス テーブルの表示 6-28
 - MAC、検出 6-28
 - スタティック
 - 追加および削除 6-25
 - 定義 6-21
 - ダイナミック
 - エージング タイムの設定 6-22
 - 学習 6-21
 - 削除 6-23
 - 定義 6-21
 - デフォルトの有効期間 17-9
 - 有効期間の短縮 17-9
 - マルチキャスト
 - STP アドレス管理 17-9
 - グループ アドレスの範囲 37-3
 - アドレス解決 6-28, 34-9
 - アドレスのエイリアス 23-2
 - アベイラビリティ機能 1-4
 - アラーム、RMON 28-3
 - 暗号化ソフトウェア イメージ
 - Kerberos 8-33
 - SSH 8-39
 - SSL 8-44
 - 暗号化、CipherSuite 8-46
 - 安全なリモート接続 8-39
- い
- イーサネット VLAN
 - 作成 12-10
 - デフォルト値および範囲 12-9
 - 変更 12-10
 - 一時自己署名証明書 8-45
 - イネーブル シークレット パスワード 8-4
 - イネーブル パスワード 8-4
 - イネーブル EXEC モード 2-2
 - イベント、RMON 28-3
 - インターフェイス
 - カウンタ、クリア 10-26
 - 管理 1-3
 - 記述、追加 10-20
 - 再起動 10-26
 - サポート 10-8
 - シャットダウン 10-26
 - 情報の表示 10-25
 - 設定 10-8
 - 設定時の注意事項 10-14
 - 説明 10-20

- 速度の設定 10-14
 - タイプ 10-2
 - デュプレックス モードの設定 10-14
 - 範囲 10-9
 - 番号 10-8
 - 物理的、識別 10-8
 - フロー制御 10-17
 - モニタ 10-25
 - レンジマクロ 10-11
 - インターフェイス コンフィギュレーション モード 2-3
 - インターフェイス タイプ 10-8
 - インターフェイスの shutdown コマンド 10-26
 - インターフェイスのクリア 10-26
- え**
- エージング タイム
 - MAC アドレス テーブル 6-22
 - 最大
 - MSTP 用 18-23
 - STP 用 17-23
 - 短縮
 - MSTP 用 18-22
 - STP 用 17-9, 17-23
 - エリア ルーティング
 - IS-IS 34-63
 - ISO IGRP 34-63
- お**
- オプション、管理 1-3
 - 重み付きランダム早期検出
 - WRED を参照
 - 音声 VLAN
 - Cisco 7960 Phone、ポート接続 15-2
 - IP Phone への接続 15-5
 - 音声トラフィックに対するポートの設定
 - 802.1p プライオリティ タグ付きフレーム 15-6
 - 802.1Q フレーム 15-5
 - 設定時の注意事項 15-4
 - 説明 15-2
 - データ トラフィック用の IP Phone の設定
 - 着信フレームの CoS の無効化 15-7
 - 着信フレームの CoS プライオリティの信頼 15-7
 - デフォルト設定 15-4
 - 表示 15-7
- か**
- 階層型 QoS
 - QoS を参照
 - 回復手順 40-1
 - 外部ネイバ、BGP 34-46
 - カウンタ、インターフェイスのクリア 10-26
 - 鍵発行局
 - Kerberos、KDC を参照
 - 拡張システム ID
 - MSTP 18-16
 - STP 17-4, 17-16
 - 拡張範囲 VLAN
 - 作成 12-14, 12-15
 - 設定 12-14
 - 設定時の注意事項 12-14
 - 定義 12-1
 - 隔離 VLAN 14-2, 14-3
 - 隔離ポート 14-3
 - カスタマー エッジ デバイス
 - multi-VRF CE 34-73
 - VPN 36-3, 36-6
 - カスタマー エッジ デバイス上での複数の VPN のルーティング/フォワーディング
 - multi-VRF CE を参照
 - 仮想ルータ 35-2, 35-3
 - 簡易ネットワーク管理プロトコル
 - SNMP を参照
 - 環境変数、機能 3-16
 - 間接リンク障害の検出、STP 19-6
 - 管理オプション
 - CLI 2-1
 - CNS 5-2
 - SNMP 30-2
 - 管理機能 1-3
 - 管理距離
 - OSPF 34-33
 - 定義 34-96
 - ルーティング プロトコルのデフォルト 34-86
 - 関連資料 xlvii

- き
- キープアライブ メッセージ 17-3
 - 起動
 - 起動プロセス 3-2
 - 手動 3-14
 - 特定のイメージ 3-15
 - ブートローダ、機能 3-2
 - 機能
 - QoS 1-7
 - VLAN 1-5
 - アベイラビリティ 1-4
 - 管理オプション 1-3
 - 管理性 1-3
 - セキュリティ 1-6
 - パフォーマンス 1-2
 - モニタ 1-9
 - レイヤ 2 VPN サービス 1-5
 - レイヤ 3 1-8
 - レイヤ 3 VPN サービス 1-6
 - 逆アドレス解決 34-9
 - 許可
 - RADIUS による 8-28
 - TACACS+ による 8-12, 8-17
 - 許可 VLAN リスト 12-24
 - 近接ディスカバリおよび回復、EIGRP 34-36
- く
- クエリ、IGMP 23-4
 - クライアント モード、VTP 13-3
 - クラス マップ、QoS
 - 設定
 - 階層型 32-99
 - 入力 32-63
 - 説明 32-11, 32-29
 - 表示 32-95, 32-124
 - クラスタ、スイッチ
 - 管理
 - CLI 4-4
 - SNMP 4-5
 - シスコ Network Assistant の「はじめに」も参照
 - 説明 4-1
 - プランニングの考慮事項
 - CLI 4-4
 - SNMP 4-5
 - クラスベース均等化キューイング
 - CBWFQ を参照
 - クラスレス ルーティング 34-7
 - グローバル コンフィギュレーション モード 2-2
 - クロック
 - システム クロックを参照
- け
- ケーブル、単一方向リンクのモニタ 26-2
 - ゲスト VLAN と 802.1x 9-9
 - 権限レベル
 - 回線のデフォルトの変更 8-10
 - 概要 8-3, 8-8
 - コマンド スイッチ 4-4
 - コマンドの設定 8-9
 - 終了 8-10
 - メンバー スイッチへのアクセス 4-4
 - ログイン 8-10
- こ
- 高速コンバージェンス 18-8
 - 候補スイッチ
 - 定義 4-3
 - 要件 4-3
 - 固定セキュア MAC アドレスの学習 24-10
 - コネクションレス サービス、VPN 36-4
 - コマンド
 - no および default 2-5
 - 権限レベルの設定 8-9
 - 省略 2-5
 - コマンド スイッチ
 - 候補スイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、メンバー スイッチ、スタンバイ コマンド スイッチも参照
 - 定義 4-2
 - パスワード権限レベル 4-4
 - 要件 4-2
 - コマンド モード 2-2
 - コマンド入力時のエラー メッセージ 2-5
 - コマンドの省略形 2-5
 - コマンドライン インターフェイス
 - CLI を参照
 - コミュニティ スtring
 - 概要 30-4

- 設定 30-7
- コミュニティポート 14-3
- コミュニティリスト、BGP 34-55
- コミュニティ VLAN 14-2, 14-3
- 混合ポート
 - 設定 14-14
 - 定義 14-3
- コンソールポート、接続 2-11
- コンフィギュレーションファイル
 - DHCPによる取得 3-8
 - TFTPサーバアクセス制限 30-14
 - アップロード
 - FTPの使用 B-16
 - RCPの使用 B-19
 - TFTPの使用 B-13
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - 格納されたコンフィギュレーションの削除 B-20
 - コピー時の無効な組み合わせ B-5
 - 作成および使用に関する注意事項 B-10
 - システムコンタクトおよびロケーション情報 30-14
 - スタートアップコンフィギュレーションのクリア B-20
 - 説明 B-9
 - タイプおよび場所 B-10
 - ダウンロード
 - FTPの使用 B-15
 - RCPの使用 B-18
 - TFTPの使用 B-12
 - 自動 3-13
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - テキストエディタによる作成 B-11
 - デフォルト名 3-13
 - パスワード回復ディセーブル化に関する考慮事項 8-6
 - ファイル名の指定 3-13
- コンフィギュレーション設定、保存 3-12

- さ
- サーバモード、VTP 13-3
- サービスクラス
 - CoSを参照
 - サービスプロバイダーネットワーク
 - 802.1Q トンネリング 16-2
 - EoMPLS 36-14
 - EtherChannel のレイヤ2 プロトコル トンネリング 16-14
 - MPLS 36-2
 - MPLS VPN の設定 36-7
 - MSTP および RSTP 18-1
 - VPN 36-3, 36-4
 - カスタマー VLAN 16-3
 - レイヤ2 プロトコル 16-13
 - サービス品質
 - QoSを参照
 - 再確認インターバル、VMPS、変更 12-35
 - 再試行回数、VMPS、変更 12-35
 - 最大エージングタイム
 - MSTP 18-23
 - STP 17-23
 - 最大ホップカウント、MSTP 18-23
 - サブドメイン、プライベート VLAN 14-2
 - サブネットゼロ 34-6
 - サブネットマスク 34-6

- し
- シェーピング、平均レート
 - 設定 32-122
 - 説明 32-36
- 時刻
 - NTP およびシステムクロックを参照
- システムクロック
 - NTPも参照
 - 概要 6-2
 - 設定
 - 手動 6-13
 - タイムゾーン 6-14
 - 夏時間 6-14
 - 日時の表示 6-13
- システムプロンプト
 - デフォルト設定 6-16
- システムメッセージロギング
 - level キーワード、説明 29-9
 - UNIX Syslog サーバ
 - サポートされているファシリティ 29-12
 - デーモンの設定 29-11
 - ロギングファシリティの設定 29-12

- イネーブル化 29-5
 - エラー メッセージの重大度の定義 29-9
 - 概要 29-2
 - シーケンス番号、イネーブル化およびディセーブル化 29-8
 - 出力先デバイスの設定 29-5
 - 設定の表示 29-13
 - タイムスタンプ、イネーブル化およびディセーブル化 29-8
 - ディセーブル化 29-4
 - デフォルト設定 29-4
 - ファシリティ キーワード、説明 29-12
 - メッセージ形式 29-3
 - メッセージの制限 29-10
 - ログ メッセージの同期化 29-6
 - システム リソースの最適化 7-2
 - システム ルーティング
 - IS-IS 34-63
 - ISO IGRP 34-63
 - システム MTU
 - 802.1Q トンネリング 16-6
 - EoMPLS 36-16
 - IS-IS LSP 34-67
 - サポートされる最大のサイズ 10-23
 - 設定 10-23
 - システム名
 - DNS も参照
 - 手動設定 6-16
 - デフォルト設定 6-16
 - 持続自己署名証明書 8-45
 - 実行コンフィギュレーション、保存 3-12
 - 自動 QoS
 - QoS を参照
 - 自動 RP、検出 37-5
 - 自動設定 3-4
 - 自動ネゴシエーション
 - インターフェイス設定時の注意事項 10-14
 - 不一致 40-9
 - 重大度、システム メッセージの定義 29-9
 - 集約アドレス、BGP 34-58
 - 集約ポート
 - EtherChannel を参照
 - 集約ポリサー 32-75
 - 照合、ACL 31-7
 - 冗長性
 - HSRP 35-2
 - STP
 - パス コスト 12-29
 - バックボーン 17-8
 - 冗長リンクと UplinkFast 19-14
 - 初期設定
 - デフォルト 1-10
 - ハードウェア インストール ション ガイドを参照
 - 侵入検知システム
 - IDS 装置を参照
 - 信頼できるタイム ソース、説明 6-3
 - 信頼できるトランスポート プロトコル、EIGRP 34-36
- す
- スイッチ クラスタリング テクノロジー 4-1
 - スイッチ ソフトウェアの機能 1-2
 - スイッチ プライオリティ
 - MSTP 18-21
 - STP 17-21
 - スイッチ ポート 10-3
 - スイッチ 仮想 インターフェイス
 - SVI を参照
 - スイッチ 間リンク 10-3
 - スイッチド パケット、ACL 上 31-39
 - スイッチの コンソール ポート 1-4
 - スーパー ネット 34-7
 - スケジューリング
 - 階層型 キュー
 - CBWFQ 32-36, 32-107
 - LLQ 32-36, 32-119
 - シェーピング 32-36, 32-122
 - 出力 キュー セット
 - SRR と プライオリティ キューイング の相互作用 32-50
 - WTD スレッシュホールド 32-25, 32-87
 - 共有 ウェイト 32-92
 - シェーピング ウェイト 32-91
 - シェーピング モード または 共有 モード 32-25
 - プライオリティ キューイング 32-93
 - 入力 キュー
 - WTD スレッシュホールド 32-21, 32-83
 - プライオリティ キューイング 32-22, 32-86
 - スケジューリング された リロード 3-17

- スタートアップ コンフィギュレーション
 - 起動
 - 手動 3-14
 - 特定のイメージ 3-15
 - クリア B-20
 - コンフィギュレーション ファイル
 - 自動ダウンロード 3-13
 - ファイル名の指定 3-13
 - デフォルトのブート コンフィギュレーション 3-13
 - スタティック アクセス ポート
 - VLAN への割り当て 12-13
 - 定義 10-3, 12-4
 - スタティック アドレス
 - アドレスを参照
 - スタティック ルーティング 34-2
 - スタティック ルート、設定 34-86
 - スタティック VLAN メンバーシップ 12-3
 - スタブ エリア、OSPF 34-31
 - スタンバイ コマンド スイッチ、要件 4-3
 - スタンバイ タイマー、HSRP 35-8
 - スタンバイ リンク 20-2
 - スタンバイ ルータ 35-2
 - ストーム制御
 - 概要 24-2
 - 設定 24-4
 - ディセーブル化 24-6
 - 表示 24-17
 - ストラタム、NTP 6-3
 - スヌーピング、IGMP 23-2
 - スパニングツリー プロトコル
 - STP を参照
 - スパニングツリーとネイティブ VLAN 12-21
 - スプリット ホライズン
 - RIP 34-24
 - スレッシユホールド、トラフィック レベル 24-3
- せ**
- 成功の応答、VMPS 12-31
 - セカンダリ VLAN 14-2
 - セキュア ポート、設定 24-9
 - セキュア HTTP クライアント
 - 設定 8-50
 - 表示 8-50
 - セキュア HTTP サーバ
 - 設定 8-48
 - 表示 8-50
 - セキュア MAC アドレス
 - 最大数 24-10
 - 削除 24-14
 - タイプ 24-9
 - セキュリティ機能 1-6
 - セキュリティ、ポート 24-9
 - 接続問題 40-11, 40-13, 40-15
 - 接続、安全なリモート 8-39
 - 設定時の注意事項
 - 802.1Q トランク 12-21
 - ACL の適用 31-20
 - EtherChannel 33-10
 - HSRP
 - インターフェイス 35-4
 - 認証およびタイマー 35-8
 - プライオリティ 35-6
 - IP マルチキャスト ルーティング 37-9
 - MAC ACL の適用 31-29
 - MSTP 18-14, 19-10
 - multi-VRF CE 34-76
 - RSPAN 27-18
 - SDM テンプレート 7-3
 - SNMP 30-6
 - SPAN 27-11
 - STP 17-14, 19-10
 - UDLD 26-5
 - VLAN
 - 拡張範囲 12-14
 - 標準範囲 12-7
 - VLAN マップ 31-32
 - VMPS 12-32
 - VTP 13-9
 - インターフェイス速度およびデュプレックス モード 10-14
 - 音声 VLAN 15-4
 - 階層型 QoS 32-96
 - 自動 QoS 32-41
 - 自動 RP および BSR 37-10
 - 代替ブリッジング 39-4
 - 名前指定の ACL 31-15
 - 標準 QoS 32-49
 - ポート セキュリティ 24-12
 - ポートベースの認証 9-12

- 保護ポート 24-7
- ルータ ACL および VLAN マップ 31-38
- 設定例
 - ACL および VLAN マップ 31-33
 - IP ACL 31-23
 - multi-VRF CE 34-79
 - SNMP 30-15
 - VLAN マップ 31-35
 - VMPS 12-32
- そ
- 送信元 / 宛先 IP アドレスベース転送、EtherChannel 33-7
- 送信元 / 宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel 33-7
- 送信元 IP アドレスベース転送、EtherChannel 33-7
- 送信元 MAC アドレス転送、EtherChannel 33-7
- 送信元のアドレス、ACL 内 31-12
- 即時脱退処理、IGMP 23-6, 23-11
- 速度、インターフェイスでの設定 10-14
- ソフトウェアイメージ
 - tar ファイル形式、説明 B-22
 - 回復手順 40-2
 - ダウンロードおよびアップロードも参照
 - フラッシュ メモリ内の場所 B-22
 - リロードのスケジューリング 3-17
- ソフトウェア イメージのアップグレード
 - ダウンロードを参照
 - リリース ノートを参照 xlvii
- ソフトウェア イメージのリロード 3-17
- ソフトウェア障害、XMODEM による回復手順 40-2
- た
- 対象読者 xlv
- 代替ブリッジング
 - STP
 - hello BPDU インターバル 39-9
 - VLAN ブリッジ スパニングツリー プライオリティ 39-7
 - VLAN ブリッジ STP 39-2
 - キープアライブ メッセージ 17-3
 - 最大アイドル時間 39-10
 - 転送遅延時間 39-10
 - パス コスト 39-8
 - ポート プライオリティ 39-7
 - ポートでのディセーブル化 39-11
 - SVI およびルーテッド ポート 39-2
 - VLAN ブリッジ STP 17-12, 39-2
 - インターフェイスの接続 10-7
 - 概要 39-2
 - 設定時の注意事項 39-4
 - デフォルト設定 39-4
 - ブリッジグループ
 - 機能 39-2
 - 削除 39-6
 - 作成 39-5
 - サポート数 39-5
 - 説明 39-2
 - 表示 39-12
 - ブリッジテーブル
 - クリア 39-12
 - 表示 39-12
 - フレーム転送
 - パケットの転送 39-2
 - パケットのフラッディング 39-2
 - 保護ポート 39-5
 - 未サポートのプロトコル 39-4
- ダイナミック アクセス ポート
 - 設定 12-34
 - 定義 10-3
 - 特性 12-4
- ダイナミック アドレス
 - アドレスを参照
- ダイナミック ポート VLAN メンバーシップ
 - 再確認 12-34, 12-35
 - 接続タイプ 12-34
 - 説明 12-32
 - トラブルシューティング 12-36
- ダイナミック ルーティング
 - ISO CLNS 34-63
 - プロトコル 34-2
- ダイナミック ARP 検査
 - ARP ACL の関連プライオリティと DHCP スヌーピング エントリ 22-5
 - ARP キャッシュ ポイズン 22-2
 - ARP スプーフィング攻撃 22-2
 - ARP パケットの速度制限
 - errdisable ステート 22-5
 - 設定 22-11
 - 説明 22-5
 - ARP 要求、説明 22-2

- DHCP スヌーピング バインディング データベース 22-3
- DoS 攻撃、回避 22-11
- man-in-the-middle 攻撃、説明 22-2
- インターフェイスの信頼状態 22-3
- インターフェイスの信頼状態とネットワーク セキュリティの問題 22-3
- 概要 22-2
- 機能 22-2
- クリア
 - 統計情報 22-16
 - ログ バッファ 22-16
- 設定
 - DHCP 環境で 22-7
 - 着信 ARP パケットのレート制限 22-5, 22-11
 - 非 DHCP 環境の ACL 22-9
 - ログ バッファ 22-14
- 設定時の注意事項 22-6
- 妥当性チェックの実行 22-13
- デフォルト設定 22-6
- 統計情報
 - クリア 22-16
 - 表示 22-16
- 廃棄されたパケットのロギング、説明 22-5
- 表示
 - ARP ACL 22-16
 - 信頼状態およびレート制限 22-16
 - 設定および動作状態 22-16
 - 統計情報 22-16
 - ログ バッファ 22-16
- レート制限を超えたことによる errdisable ステート 22-5
- ログ バッファ
 - クリア 22-16
 - 設定 22-14
 - 表示 22-16
- タイムゾーン 6-14
- ダウンロード
 - イメージファイル
 - FTP の使用 B-27
 - HTTP の使用 B-21
 - RCP の使用 B-32
 - TFTP の使用 B-24
 - 準備 B-23, B-26, B-31
 - 古いイメージの削除 B-25
 - 目的 B-21
 - コンフィギュレーション ファイル
 - FTP の使用 B-15
 - RCP の使用 B-18
 - TFTP の使用 B-12
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - タグ付きパケット
 - 802.1Q 16-4
 - レイヤ 2 プロトコル 16-13
 - 単一方向リンク検出プロトコル
 - UDLD を参照
 - 端末回線、パスワードの設定 8-7
- ち
 - 注意、説明 xlvi
- つ
- ツイストペア イーサネット、単一方向リンク検出 26-2
- て
 - ディスタンス ベクタ プロトコル 34-3
 - ディレクトリ
 - 作業ディレクトリの表示 B-4
 - 作成および削除 B-4
 - 変更 B-4
 - テール ドロップ
 - 設定 32-107
 - 説明 32-35
 - デバイス ディスカバリ プロトコル 25-2
 - デバッグ
 - エラー メッセージ出力のリダイレクト 40-18
 - コマンドの使用法 40-17
 - 全システム診断のイネーブル化 40-18
 - 特定機能に関するイネーブル化 40-17
 - デフォルト ゲートウェイ 3-11, 34-12
 - デフォルト ネットワーク 34-87
 - デフォルト ルーティング 34-2
 - デフォルト ルート 34-87
 - デフォルト設定
 - 802.1Q トンネリング 16-5
 - 802.1x 9-11
 - BGP 34-44

- CDP 25-3
 - DHCP 21-8
 - DHCP Option 82 21-8
 - DHCP スヌーピング 21-8
 - DHCP スヌーピング バインディング データベース 21-8
 - DNS 6-17
 - EIGRP 34-37
 - EoMPLS 36-17
 - EtherChannel 33-9
 - Flex Link 20-3
 - HSRP 35-4
 - IGMP 37-29
 - IGMP スヌーピング 23-7
 - IGMP フィルタリング 23-23
 - IP アドレス、IP ルーティング 34-5
 - IP ソース ガード 21-17
 - IP マルチキャスト ルーティング 37-9
 - IS-IS 34-64
 - MAC アドレス テーブル 6-22
 - MPLS 36-7
 - MPLS QoS 36-22
 - MSDP 38-4
 - MSTP 18-13
 - multi-VRF CE 34-75
 - MVR 23-17
 - NTP 6-5
 - OSPF 34-28
 - RADIUS 8-21
 - RIP 34-21
 - RMON 28-3
 - RSPAN 27-11
 - SNMP 30-6
 - SPAN 27-11
 - SSL 8-46
 - STP 17-13
 - TACACS+ 8-14
 - UDLD 26-4
 - VLAN 12-9
 - VLAN マッピング 16-9
 - VLAN、レイヤ 2 イーサネット インターフェイス 12-22
 - VMPS 12-32
 - VTP 13-8
 - オプションのスパンニングツリー機能 19-10
 - 音声 VLAN 15-4
 - 階層型 QoS 32-96
 - 起動 3-13
 - システム メッセージ ロギング 29-4
 - システム名およびプロンプト 6-16
 - 自動 QoS 32-37
 - 代替ブリッジング 39-4
 - ダイナミック ARP 検査 22-6
 - デフォルト スイッチ情報 3-3
 - パスワードおよび権限レベル 8-3
 - バナー 6-19
 - 標準 QoS 32-47
 - プライベート VLAN 14-7
 - レイヤ 2 インターフェイス 10-13
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-17
 - デュアルレベル ポリシー マップ
 - 設定 32-68
 - 説明 32-16
 - デュプレックスモード、設定 10-14
 - 転送遅延時間
 - MSTP 18-22
 - STP 17-23
 - 転送同等クラス 36-2
 - テンプレート、SDM 7-2
- と
- 等価コスト ルーティング 34-85
 - 同期化、BGP 34-46
 - 統計情報
 - 802.1x 9-21
 - CDP 25-6
 - IP マルチキャスト ルーティング 37-54
 - OSPF 34-35
 - QoS 入力および出力 32-95
 - RMON イーサネット グループ 28-6
 - RMON グループ履歴 28-5
 - SNMP 入出力 30-16
 - VTP 13-18
 - インターフェイス 10-25
 - トークンリング VLAN
 - VTP のサポート 13-5
 - サポート 12-7
 - ドメイン ネーム システム
 - DNS を参照
 - ドメイン名
 - DNS 6-17
 - VTP 13-9

- ドメイン、ISO IGRP ルーティング 34-63
 - トラストポイント、CA 8-44
 - トラップ
 - MAC アドレス通知の設定 6-23
 - イネーブル化 6-23, 30-11
 - 概要 30-2, 30-5
 - 通知タイプ 30-11
 - 定義 30-4
 - マネージャの設定 30-11
 - トラップドア メカニズム 3-2
 - トラフィック
 - フラッディングのブロック 24-8
 - 分割 31-5
 - 分割されていない 31-5
 - トラフィック シェーピング
 - シェーピング、平均レートを参照
 - トラフィックの優先処理
 - QoS を参照
 - トラブルシューティング
 - CiscoWorks 30-4
 - debug コマンド 40-17
 - PIMv1 および PIMv2 のインターオペラビリティ問題 37-24
 - ping の使用 40-11
 - SFP のセキュリティと識別 40-10
 - show forward コマンド 40-19
 - traceroute 40-15
 - クラッシュ情報の表示 40-22
 - システム メッセージのロギング 29-2
 - 接続問題 40-11, 40-13, 40-15
 - 単一方向リンクの検出 26-1
 - パケット転送の判別 40-19
 - トランク
 - DTP をサポートしないデバイス 12-19
 - 概要 12-19
 - 許可 VLAN リスト 12-24
 - 設定 12-23, 12-28, 12-30
 - タグなしトラフィック用ネイティブ VLAN 12-26
 - パラレル 12-29
 - プルーニング適格リスト 12-25
 - ロードシェアリング
 - STP パス コストの設定 12-29
 - STP ポート プライオリティの使用 12-27, 12-28
 - トランク ポート
 - カプセル化 12-23, 12-28, 12-30
 - セキュア MAC アドレス 24-13
 - 設定 12-23
 - 定義 10-3, 12-4
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-16
 - トランスペアレント モード、VTP 13-4, 13-14
 - トンネリング
 - 802.1Q 16-2
 - 定義 16-1
 - レイヤ 2 プロトコル 16-13
 - トンネル ポート
 - 802.1Q、設定 16-8
 - 説明 10-4, 16-2
 - 他の機能との非互換性 16-7
 - 定義 12-5
- な
- 内部ネイバ、BGP 34-46
 - 夏時間 6-14
 - 名前指定の IP ACL 31-15
- に
- 二重タグ付きパケット
 - 802.1Q トンネリング 16-3
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-16
 - 認識不能の Type-Length-Value (TLV) のサポート 13-5
 - 認証
 - AAA でのローカル モード 8-38
 - EIGRP 34-40
 - HSRP 35-8
 - Kerberos 8-33
 - NTP アソシエーション 6-6
 - RADIUS
 - 鍵 8-22
 - ログイン 8-24
 - TACACS+
 - 鍵 8-14
 - 定義 8-12
 - ログイン 8-15
 - ポートベースの認証を参照
 - 認証鍵、ルーティング プロトコル 34-97

- ね
- ネイティブ VLAN
 - 802.1Q トンネリング 16-5
 - 設定 12-26
 - デフォルト 12-26
 - ネイバ、BGP 34-56
 - ネットワーク管理
 - CDP 25-2
 - RMON 28-1
 - SNMP 30-1
 - ネットワーク構成、例 1-13
- は
- バージョン依存型トランスペアレント モード 13-5
 - ハードウェア制限とレイヤ3 インターフェイス 10-21
 - バイパス モード、レイヤ2 プロトコル トンネリング 16-13, 16-17
 - バインディング
 - DHCP スヌーピング データベース 21-6
 - IP ソース ガード 21-16
 - アドレス、Cisco IOS DHCP サーバ 21-6
 - バインディング データベース
 - DHCP スヌーピング
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
 - アドレス、DHCP サーバ
 - DHCP、Cisco IOS サーバ データベースを参照
 - バインディング テーブル、DHCP スヌーピング
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
 - パケットのブロック 24-8
 - パケットの変更、QoS による 32-51
 - パス コスト
 - MSTP 18-20
 - STP 17-20
 - パスワード
 - VTP ドメイン 13-10
 - 暗号化 8-4
 - 回復 40-4
 - 回復のディセーブル化 8-6
 - 概要 8-2
 - 設定
 - Telnet 8-7
 - イネーブル 8-4
 - イネーブル シークレット 8-4
 - ユーザ名 8-8
 - デフォルト設定 8-3
 - パスワードの暗号化 8-4
 - バックアップ インターフェイス
 - Flex Link を参照
 - バックアップ リンク 20-2
 - パッシブ インターフェイス
 - OSPF 34-33
 - 設定 34-94
 - バナー
 - 設定
 - Message-of-The-Day ログイン 6-19
 - ログイン 6-20
 - デフォルト設定 6-19
 - 表示の時期 6-19
 - パフォーマンスの特長 1-2
 - パラレルパス、ルーティング テーブル内 範囲 34-85
 - インターフェイス 10-9
 - マクロ 10-11
- ひ
- 非 IP トラフィックのフィルタリング 31-28
 - ピア、BGP 34-56
 - 非階層型ポリシー マップ 32-13
 - 光ファイバ、単一方向リンク検出 26-2
 - ヒストリ
 - コマンドの呼び出し方法 2-6
 - 説明 2-6
 - ディセーブル化 2-7
 - バッファ サイズの変更 2-6
 - 非対称リンクと 802.1Q トンネリング 16-5
 - 非トランッキング モード 12-20
 - 表記法
 - コマンド xlvi
 - 書体 xlvi
 - マニュアル xlvi
 - 例 xlvi
 - 標準範囲 VLAN
 - 設定モード 12-8
 - 定義 12-1

ふ

ファイル

tar

イメージファイル形式 B-22

作成 B-6

抽出 B-7

内容の表示 B-7

クラッシュ情報

説明 40-22

内容の表示 40-22

保管場所 40-22

コピー B-5

削除 B-5

内容の表示 B-8

ファイルシステム

使用可能なファイル システムの表示 B-2

デフォルトの設定 B-3

ネットワーク ファイル システム名 B-5

ファイル情報の表示 B-3

ローカル ファイル システム名 B-2

不一致、自動ネゴシエーション 40-9

フィルタリング

show および more コマンドの出力 2-11

VLAN 内 31-31

非 IP トラフィック 31-28

フィルタ、IP

ACL、IP を参照

ブートストラップルータ (BSR)、説明 37-6

ブートローダ

アクセス方法 3-15

環境変数 3-15

説明 3-2

トラップドア メカニズム 3-2

プロンプト 3-15

輻輳回避メカニズム

WRED 32-34, 32-111, 32-115

WTD 32-19, 32-83, 32-87

不正アクセスの防止 8-2

物理ポート 10-3

プライオリティ

CoS の信頼 15-7

CoS の無効化 15-7

HSRP 35-6

プライベート VLAN

IP アドレス 14-4

SDM テンプレート 14-5

SVI 14-6

エンドステーションアクセス 14-3

隔離 VLAN 14-2, 14-3

隔離ポート 14-3

コミュニティ ポート 14-3

コミュニティ VLAN 14-2, 14-3

混合ポート 14-3

サブドメイン 14-2

セカンダリ VLAN 14-2

設定 14-11

設定作業 14-7

設定時の注意事項 14-8, 14-9

デフォルト設定 14-7

トラフィック 14-5

複数のスイッチにまたがる 14-4

プライマリ VLAN 14-2, 14-3

ポート

隔離 14-3

コミュニティ 14-3

混合 14-3

混合ポートの設定 14-14

設定時の注意事項 14-9

説明 12-4

ホスト ポートの設定 14-13

マッピング 14-15

モニタ 14-16

利点 14-2

プライベート VLAN エッジ ポート

保護ポートを参照

プライマリ リンク 20-2

プライマリ VLAN 14-2, 14-3

フラッシュ デバイス、番号 B-2

フラッドイングトラフィック、ブロック 24-8

ブリッジグループ

代替ブリッジングを参照

ブリッジプロトコルデータ ユニット

BPDU を参照

ブリッジドパケット、ACL 上 31-40

プルーニング適格リスト

VLAN 13-16

VTP プルーニング 13-5

変更 12-25

プルーニング、VTP

イネーブル化 13-16

概要 13-5

- 設定例 13-6
 - ポート上でのイネーブル化 12-25
 - プレフィクスリスト、BGP 34-54
 - フロー制御 10-17
 - フローチャート
 - 2つのレートを使用するQoS階層型ポリシングおよびマーキング 32-31
 - QoS階層型キューのキューイングおよびスケジューリング 32-33
 - QoS出力キューセットのキューイングおよびスケジューリング 32-23
 - QoS入力のキューイングおよびスケジューリング 32-20
 - QoS、入力分類 32-10
 - 単一レートのQoS入力ポリシングおよびマーキング 32-15
 - ブロードキャストストーム 24-2, 34-14
 - ブロードキャストパケット
 - 指定 34-14
 - フラッディング 34-14
 - ブロードキャストフラッディング 34-17
 - プロキシARP
 - IPルーティングがディセーブルの場合 34-12
 - 設定 34-11
 - 定義 34-9
 - プロトコル依存モジュール、EIGRP 34-37
 - プロバイダーエッジデバイス
 - MPLS 36-8
 - MPLSラベル 36-3
 - multi-VRF CEの使用 34-74
 - VPN 36-6
 - 分析用トラフィックのミラーリング 27-2
- へ
- ヘルプ、コマンドライン 2-4
 - 編集機能
 - イネーブル化またはディセーブル化 2-8
 - 折り返し機能 2-10
 - 使用されるキーストローク 2-8
- ほ
- ポート
 - 802.1Qトンネル 12-5
 - Enhanced Services (ES) 10-3, 10-8
 - VLAN割り当て 12-13
 - アクセス 10-3
 - 識別 10-8
 - スイッチ 10-3
 - スタティックアクセス 12-4, 12-13
 - セキュア 24-9
 - 設定 10-8
 - ダイナミックアクセス 12-4
 - トランク 12-4, 12-19
 - 番号 10-8
 - ブロッキング 24-8
 - 保護 24-7
 - ルーテッド 10-4
 - ポートシャットダウンの応答、VMPS 12-31
 - ポートセキュリティ
 - QoSの信頼境界 32-56
 - 違反 24-10
 - エージング 24-15
 - 固定学習 24-10
 - 設定 24-12
 - 設定時の注意事項 24-12
 - 説明 24-9
 - デフォルト設定 24-11
 - トランクポート 24-13
 - 表示 24-17
 - ポートチャンネル
 - EtherChannelを参照
 - ポートプライオリティ
 - MSTP 18-19
 - STP 17-19
 - ポートブロッキング 24-8
 - ポートメンバーシップモード、VLAN 12-4
 - ポートACL
 - タイプ 31-4
 - 定義 31-2
 - ポート信頼状態
 - IP Phoneのポートセキュリティの確保 32-56
 - QoSドメイン間 32-58
 - QoSドメイン内 32-53
 - 分類オプション 32-8
 - ポートベースの認証
 - EAPOL開始フレーム 9-3
 - EAP応答/アイデンティティフレーム 9-3
 - EAP要求/アイデンティティフレーム 9-3
 - VLAN割り当て
 - AAA許可 9-13
 - 設定作業 9-8

- 説明 9-8
 - 特性 9-8
 - アカウントティング 9-5
 - 以前のリリースからのアップグレード 32-42
 - 音声 VLAN
 - PVID 9-7
 - VVID 9-7
 - 説明 9-7
 - 開始とメッセージ交換 9-3
 - カプセル化 9-3
 - クライアント、定義 9-2
 - ゲスト VLAN
 - 設定時の注意事項 9-9
 - 説明 9-9
 - スイッチ
 - RADIUS クライアント 9-3
 - プロキシ 9-3
 - 設定
 - 802.1x 認証 9-13
 - RADIUS サーバ 9-15
 - ゲスト VLAN 9-19
 - 手動によるクライアントの再認証 9-16
 - スイッチ上の RADIUS サーバパラメータ 9-14
 - スイッチとクライアント間の再送信時間 9-16
 - スイッチとクライアント間のフレーム再送信回数 9-17, 9-18
 - 待機時間 9-16
 - 定期的再認証 9-15
 - ホストモード 9-18
 - 設定時の注意事項 9-12
 - 説明 9-2
 - デバイスの役割 9-2
 - デフォルト設定 9-11
 - デフォルト値へのリセット 9-20
 - 統計情報の表示 9-21
 - トポロジー、サポート対象 9-6
 - 認証サーバ
 - RADIUS サーバ 9-3
 - 定義 9-3
 - 複数ホストモード、説明 9-18
 - 方式リスト 9-13
 - ポート
 - 音声 VLAN 9-7
 - 許可および無許可 9-4
 - 許可ステートと dot1x port-control コマンド 9-4
 - ポートセキュリティ
 - 音声 VLAN 9-7
 - 説明 9-6
 - 相互作用 9-6
 - 複数ホストモード 9-18
 - ユーザ単位の ACL
 - AAA 許可 9-13
 - RADIUS サーバアトリビュート 9-9
 - 設定作業 9-10
 - 説明 9-9
 - 保護ポート 24-7
 - ホストポート
 - 種類 14-3
 - 設定 14-13
 - ホスト、ダイナミックポートの上限 12-36
 - ポリサー
 - 階層型、2つのレート 32-30
 - サポート数 32-50, 32-97
 - 集約ポリサーの表示 32-95
 - 設定
 - 一致した各トラフィッククラス 32-65
 - 階層型、2つのレート 32-101
 - 複数のトラフィッククラス 32-75
 - タイプ 32-13
 - 入力のタイプ 32-13
 - 入力、単一レート 32-14
 - ポリシー マップ
 - SVI での階層型 32-12
 - デュアルレベル 32-12
 - 非階層型および単一レベル 32-12
 - ポリシング
 - SVI での階層型デュアルレベル
 - デュアルレベル ポリシー マップを参照
 - 階層型、説明 32-30
 - トークンバケット アルゴリズム 32-14, 32-31
 - 入力、説明 32-12
- ま
- マーキング
 - アクション
 - 階層型ポリシー マップ 32-102, 32-105
 - 入力ポリシー マップ 32-65, 32-75

- 説明
 - 階層型 32-6, 32-30
 - 入力 32-6, 32-14
- マクロ
 - Smartport マクロを参照
- マニュアル
 - 対象読者 xlv
 - 目的 xlv
- マルチキャスト グループ
 - 加入 23-3
 - スタティックな加入 23-10
 - 即時脱退 23-6
 - 脱退 23-5
- マルチキャスト ストーム 24-2
- マルチキャスト パケット
 - ACL 上 31-41
 - ブロッキング 24-8
- マルチキャスト ルータ インターフェイス、情報表示 23-13
- マルチキャスト ルータ ポート、追加 23-9
- マルチプロトコル ラベル スイッチング
 - MPLS を参照
- め
- メッセージ
 - ACL 違反のログ 31-16
 - バナーを使用してユーザに送信 6-19
- メトリック変換、ルーティング プロトコル間 34-91
- メトリック、BGP 内 34-50
- メトロ タグ 16-3
- メンバー スイッチ
 - 管理 4-4
 - 候補スイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、スタンバイ コマンド スイッチも参照
 - 定義 4-2
 - 要件 4-3
- メンバーシップ モード、VLAN ポート 12-4
- も
- モジュール番号 10-8
- モニタ
 - 802.1Q トンネリング 16-25
 - ACL の設定 31-42
 - BGP 34-62
- CDP 25-6
- CEF 34-85
- EIGRP 34-41
- EoMPLS 36-24
- Flex Link 20-4
- HSRP 35-10
- IGMP
 - スヌーピング 23-13
 - フィルタ 23-27
- IP
 - アドレス テーブル 34-19
 - マルチキャスト ルーティング 37-54
 - ルート 34-98
- IS-IS 34-72
- ISO CLNS 34-72
- MPLS 36-24
- MSDP ピア 38-19
- multi-VRF CE 34-83
- MVR 23-21
- OSPF 34-35
- RP マッピング情報 37-24
- SA メッセージ 38-19
- SFP
 - ステータス 10-25, 40-10
- SFP ステータス 1-9
- VLAN 12-18
 - フィルタ 31-42
 - マップ 31-42
- VMPS 12-36
- VTP 13-18
 - アクセス グループ 31-42
 - インターフェイス 10-25
 - 機能 1-9
 - スイッチ間のトラフィック フロー 28-2
 - 速度およびデュプレックス モード 10-16
 - 代替ブリッジング 39-12
 - 単一方向リンクのケーブル 26-2
 - トラフィック抑制 24-17
 - トンネリング 16-25
 - プライベート VLAN 14-16
 - プローブによる分析用ネットワーク トラフィック 27-3
- ポート
 - ブロッキング 24-17
 - 保護 24-17
 - マルチキャスト ルータ インターフェイス 23-13

- レイヤ2 プロトコル トンネリング 16-25
- ゆ
- 有効期間、短縮 17-9
- ユーザ EXEC モード 2-2
- ユーザ名ベースの認証 8-8
- ユニキャスト ストーム 24-2
- ユニキャスト トラフィック、ブロック 24-8
- ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング 1-4
- CPU パケット 6-26
- スタティック アドレスの追加 6-26
- 設定時の注意事項 6-26
- 説明 6-26
- ブロードキャスト MAC アドレス 6-26
- マルチキャスト アドレス 6-26
- ルータ MAC アドレス 6-26
- ら
- ライン コンフィギュレーション モード 2-3
- ラベル スイッチング ルータ
- LSR を参照
- ラベル バインディング 36-2
- ラベル、MPLS 36-2
- り
- リセット、BGP 内 34-48
- 履歴テーブル、Syslog メッセージのレベルと数 29-10
- リンク冗長性
- Flex Link を参照
- リンクステート プロトコル 34-3
- リンク、単一方向 26-2
- 隣接テーブル、CEF 34-84
- る
- ルータ ACL
- タイプ 31-3
- 定義 31-2
- ルータ ID、OSPF 34-34
- ルーティング
- 情報の再配信 34-88
- スタティック 34-2
- ダイナミック 34-2
- デフォルト 34-2
- ルーティング ドメイン 連合、BGP 34-59
- ルーティング プロトコルの管理距離 34-86
- ルーティングできないプロトコルに属するトラフィックの転送 39-1
- ルーテッド パケット、ACL 上 31-40
- ルーテッド ポート
- IP アドレス 10-21, 34-4
- 設定 34-4
- 定義 10-4
- ルート ガード
- イネーブル化 19-16
- 説明 19-8
- ルート サマライズ、OSPF 34-32
- ルート スイッチ
- MSTP 18-16
- STP 17-16
- ルート ターゲット、VPN 34-75
- ルート ダンピング化、BGP 34-61
- ルート マップ
- BGP 34-52
- PBR 34-91
- ルート リフレクタ、BGP 34-60
- ルート 計算タイマー、OSPF 34-33
- ルート 選択、BGP 34-50
- ループ ガード
- イネーブル化 19-17
- 説明 19-9
- れ
- レイヤ 2 traceroute
- ARP 40-14
- CDP 40-13
- IP アドレスおよびサブネット 40-14
- MAC アドレスおよび VLAN 40-13
- 使用上の注意事項 40-13
- 説明 40-13
- ポートに複数のデバイス 40-14
- マルチキャスト トラフィック 40-13
- ユニキャスト トラフィック 40-13
- レイヤ 2 インターフェイス、デフォルト設定 10-13
- レイヤ 2 トランク 12-19
- レイヤ 2 フレーム、CoS による分類 32-3
- レイヤ 2 プロトコル トンネリング

- EtherChannel の設定 16-20
 - 設定 16-16
 - 注意事項 16-17
 - 定義 16-13
 - デフォルト設定 16-17
 - バイパス モード 16-13, 16-17
- レイヤ 2 プロトコル パケットのシャットダウン スレッシュホールド 16-17
- レイヤ 2 プロトコル パケットの廃棄スレッシュホールド 16-17
- レイヤ 3 インターフェイス
 - IP アドレスの割り当て 34-6
 - タイプ 34-4
 - レイヤ 2 モードからの変更 34-6
- レイヤ 3 機能 1-8
- レイヤ 3 パケット、分類方法 32-3
- レポートの抑制、IGMP
 - 説明 23-6
 - ディセーブル化 23-12

ろ

- ログ メッセージ
 - システム メッセージ ロギングを参照
- ログ メッセージのシーケンス番号 29-8
- ログ メッセージのタイムスタンプ 29-8
- ログ メッセージ、ACL 31-10
- ログイン バナー 6-19
- ログイン 認証
 - RADIUS による 8-24
 - TACACS+ による 8-15

